

平成22年国勢調査第2次試験調査

調査票及び世帯アンケート集計結果の概要

目 次

第1	調査の概要	1
第2	調査票の集計結果	5
	調査票の回収状況	5
	調査票の記入状況	12
第3	世帯アンケートの集計結果	30
参考	調査票(甲・乙)	52

平成20年11月

国勢統計課

第 1 調査の概要

1 調査の目的

平成 22 年国勢調査第 2 次試験調査は、第 1 次試験調査の結果を踏まえた調査方法、調査事務の再検討及び調査項目の設定について実地の検討を行い、国勢調査の実施計画の立案に必要な基礎資料を得ることを目的として実施

2 調査の地域

(1) 市区町

岩手県北上市、東京都豊島区、神奈川県横浜市、富山県高岡市、大阪府大阪市、兵庫県神戸市、鳥取県米子市、高知県佐川町、長崎県佐世保市の 9 市区町

(2) 調査区

上記市区町の区域に属する平成17年国勢調査調査区の中から、地域特性を考慮して選定した280調査区

3 調査の期日及び日程

(1) 調査の期日

平成20年 6 月13日（金）午前零時現在

(2) 調査の日程

調査地域の確認及び

『調査についてのお願い』の配布（調査員） 6 月 2 日（月）～ 6 月 4 日（水）
調査票の配布（調査員） 6 月 5 日（木）～ 6 月12日（木）

調査期日 6 月13日（金）

調査票の当初回収（調査員） 6 月13日（金）～ 6 月19日（木）

調査票の郵送提出期限（世帯） 6 月19日（木）

オンライン回答期限（世帯） 6 月19日（木）

『調査票の提出はお済みですか』（確認状）

の配布（調査員） 6 月19日（木）～ 6 月20日（金）

『世帯名簿』・『調査区要図』の検査及び

『世帯名簿』の清書（指導員） 6 月20日（金）～ 6 月24日（火）

調査票の回収状況の把握・管理及び

「受付状況確認リスト」の出力（市区町） 6 月25日（水）～ 6 月26日（木）

「受付状況確認リスト」と

『世帯名簿』の照合（指導員） 6 月26日（木）～ 6 月27日（金）

『世帯名簿』上の調査票未提出世帯

の特定（指導員） 6 月26日（木）～ 6 月27日（金）

調査員への調査票未提出世帯の指示（指導員） 7 月 3 日（木）～ 7 月 4 日（金）

調査票未提出世帯からの

調査票の回収（調査員） 7 月 4 日（金）～ 7 月13日（日）

世帯からの調査票の最終提出期限（世帯） 7 月13日（日）

『単位区別調査対象数リスト』

の作成(指導員)	7月14日(月)～7月15日(火)
調査票の提出状況の最終把握(市区町)	7月16日(水)～7月17日(木)
調査票等の審査(市区町)	6月中旬～7月下旬
単位区別速報人口・世帯数の審査(市区町)	7月下旬～8月上旬

4 調査の対象

調査の対象は、調査の期日において、調査の地域内に常住する者
ただし、外国政府の外交使節団又は領事機関の構成員及び外国軍隊の軍人・軍属
並びにこれらの家族を除く

5 調査項目及び調査票

調査区ごとに、調査票のレイアウトが異なる2種類のOCR(光学式文字読取)
調査票(甲・乙)を用いて、次の項目を調査

ア 世帯員に関する項目(15項目)

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| (ア) 氏名 | (ケ) 在学、卒業等教育の状況 |
| (イ) 男女の別 | (コ) 就業状態 |
| (ウ) 出生の年月 | (カ) 所属の事業所の名称及び事業内容 |
| (エ) 世帯主との続柄 | (キ) 本人の仕事の内容 |
| (オ) 配偶の関係 | (ク) 勤めか自営かの別 |
| (カ) 国籍 | (ケ) 従業地又は通学地 |
| (キ) 現在の住居における居住期間 | (コ) 従業地又は通学地までの利用交通手段 |
| (ク) 5年前の住居の所在地 | |

イ 世帯に関する項目(5項目)

- (ア) 世帯の種類
- (イ) 世帯員の数
- (ウ) 住居の種類
- (エ) 住宅の建て方
- (オ) 住宅の床面積の合計

6 調査の方法

(1) 調査の流れ

調査は、総務省統計局 - 都府県 - 市区町 - 指導員 - 調査員 - 世帯の流れにより
実施

(2) 調査の方法

ア 調査員は、所定の調査票配布期間に世帯と面接し、記入依頼を行った上で調
査票を配布

なお、世帯が不在等で面接できない場合は、日・時間を変えて訪問すること
とし、その訪問回数の上限を3回に設定。この訪問回数内に世帯と面接できな
い場合は、調査票を郵便受けに入れるなどして配布

イ 調査票の提出は、総務省統計局への郵送提出、調査員への提出、オンライン
による回答又は市区町への持参によることとし、調査区ごとに次の二つの周知
方法のいずれかで実施

新たな提出方法の強調周知型

調査票配布時に世帯に配布する調査書類により、郵送による提出を基本とし、希望する場合には調査員への提出、オンラインによる回答や市区町への持参も可能であることを周知

多様な提出方法の並列周知型

調査票配布時に世帯に配布する調査書類により、調査員への提出のほか、郵送による提出、オンラインによる回答や市区町への持参も可能であることを周知

ウ 調査票の当初回収期間に、上記「新たな提出方法の強調周知型」の方法による調査地域の調査員は、調査票配布時に調査員に調査票を提出したいとの申し出のあった世帯を訪問し、調査票を回収するとともに、それ以外の世帯に対して、所定の期間に『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を郵便受けに入れるなどして配布

また、上記「多様な提出方法の並列周知型」の方法による調査地域の調査員は、当初回収期間中にすべての世帯を訪問し、郵送提出、オンラインによる回答や市区町への持参を希望する世帯以外の世帯から調査票を回収。調査員が調査票を回収した世帯以外の世帯に対しては、所定の期間に『調査票の提出はお済みですか』（確認状）を郵便受けに入れるなどして配布

エ 調査票の当初回収期間内に調査票が提出されていない世帯（調査票未提出世帯）があった場合、調査員は、指導員からの指示に基づき、次の方法により、当該世帯からの調査票の回収（フォローアップ回収）を実施

(ア) 調査票未提出世帯を訪問し、面接の上、調査票を直接回収

(イ) 調査票未提出世帯が不在等の場合は、再三訪問して世帯との面接に努めることとするが、最終的に調査票の提出を直接依頼できない場合には、『調査票提出のお願い』（督促状）及び調査票等を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布

(ウ) フォローアップ回収については、調査区ごとに次の二つの調査員の配置方法のいずれかで実施

フォローアップ回収事務調査員継続型

調査票を配布・当初回収する調査員がフォローアップ回収事務も継続して実施

フォローアップ回収事務調査員縮小型

調査票の配布・当初回収及びフォローアップ回収の双方の事務を行う調査員が、調査票の配布・当初回収を担当した調査員の受持ち調査区についても、フォローアップ回収事務を実施

(3) 申告の方法

申告は、世帯主（世帯の代表者を含む）又は世帯員が調査票に記入する方法

7 世帯アンケートの実施

(1) 把握事項

今回の試験調査における検討事項について、より客観的な検証を行うために、『世帯アンケート』を用いて、次の事項を把握

ア 調査票の提出方法について

イ 調査項目の定義及び記入方法について

ウ 国勢調査について

エ 記入者の属性について

(2) 実施方法

ア 調査員は、調査票提出済みの世帯には、フォローアップ回収期間に『世帯アンケート』を郵便受けに入れるなどして配布し、記入を依頼

また、調査票未提出世帯については、当該世帯から調査票を直接回収した際に『世帯アンケート』を配布し、記入を依頼。なお、調査票未提出世帯が不在等で、最終的に調査票の回収ができない場合には、『調査票提出のお願い』（督促状）及び調査票等とともに、『世帯アンケート』を当該世帯の郵便受けに入れるなどして配布

イ 世帯からの『世帯アンケート』の提出は、総務省統計局への郵送による方法

(3) 申告の方法

申告は、世帯主（世帯の代表者を含む）又は世帯員が『世帯アンケート』に記入する方法

8 その他

第2次試験調査は、国勢調査令第15条第1項第6号及び第2項第8号に規定する「調査方法についての基礎調査」として実施

なお、調査の実施については、統計報告調整法に基づく統計報告の徴集（いわゆる承認統計調査）として承認（世帯アンケートを含む）。

第2 調査票の集計結果

調査票の回収状況

1 全体の状況

9市区町全体で、調査票を回収した世帯数は11,054世帯(80.0%)、調査票を回収していない世帯数は2,762世帯(20.0%)となっている。

調査票を回収した世帯について、回収方法別にみると、郵送回収が7,226世帯(65.4%)と最も多く、調査員回収は3,342世帯(30.2%)、オンライン回収は328世帯(3.0%)となっている。

また、調査票を回収した世帯について、回収時期別にみると、当初の回収期間に調査票を回収した世帯数は9,747世帯(88.2%)、調査票未提出世帯からの調査票回収(以下「フォローアップ回収」という。)期間に調査票を回収した世帯数は1,263世帯(11.4%)となっている。

当初の回収期間に調査票を回収した世帯について、回収方法別にみると、郵送回収の割合が67.8%と高くなっている。フォローアップ回収期間については、調査員回収を原則としたため、当初回収に比べ、調査員回収の割合が高くなっているものの、その割合は郵送回収とほぼ同じとなっている。

調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	
総数	13,816	11,054	7,226	328	3,342	114	9,747	6,610	328	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
構成比1(%)	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0
構成比2(%)	-	100.0	65.4	3.0	30.2	1.0	88.2	59.8	3.0	24.5	0.9	11.4	5.6	5.7	0.2	-
構成比3(%)	-	100.0	65.4	3.0	30.2	1.0	100.0	67.8	3.4	27.8	1.0	100.0	48.8	49.9	1.3	-

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

【参考】平成22年国勢調査第1次試験調査の調査票の回収状況

調査票回収方法別世帯数

	総数	総数				当初回収				フォローアップ回収				聞き取り
		総数(注)	郵送回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	
総数	23,748	18,392	16,588	1,369	404	15,100	14,530	221	349	3,261	2,058	1,148	55	5,356
構成比1(%)	100.0	77.4	69.9	5.8	1.7	63.6	61.2	0.9	1.5	13.7	8.7	4.8	0.2	22.6
構成比2(%)	-	100.0	90.2	7.4	2.2	82.1	79.0	1.2	1.9	17.7	11.2	6.2	0.3	-
構成比3(%)	-	100.0	90.2	7.4	2.2	100.0	96.2	1.5	2.3	100.0	63.1	35.2	1.7	-

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

2 地域特性別の状況

地域特性別にみると、調査票を回収した世帯の割合は、一戸建の多い地域（93.8%）で高くなっている一方、ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域（53.5%）で低くなっている。

なお、学生寮のある地域については、管理人を調査員としたことから、円滑に調査を実施することができ、当初の回収期間に調査票をすべて回収することができた。

地域特性、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	
実数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
一戸建の多い地域	4,808	4,508	2,896	76	1,473	41	4,161	2,777	76	1,274	34	325	119	199	7	300
共同住宅の多い地域	5,098	3,888	2,486	94	1,237	51	3,386	2,238	94	1,009	45	482	248	228	6	1,210
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	1,995	1,627	1,180	106	324	16	1,408	1,038	106	250	14	218	142	74	2	368
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	1,903	1,019	658	50	304	6	780	551	50	175	4	238	107	129	2	884
学生寮のある地域	4	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0
構成比(%)	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0
一戸建の多い地域	100.0	93.8	60.2	1.6	30.6	0.9	86.5	57.8	1.6	26.5	0.7	6.8	2.5	4.1	0.1	6.2
共同住宅の多い地域	100.0	76.3	48.8	1.8	24.3	1.0	66.4	43.9	1.8	19.8	0.9	9.5	4.9	4.5	0.1	23.7
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	100.0	81.6	59.1	5.3	16.2	0.8	70.6	52.0	5.3	12.5	0.7	10.9	7.1	3.7	0.1	18.4
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	53.5	34.6	2.6	16.0	0.3	41.0	29.0	2.6	9.2	0.2	12.5	5.6	6.8	0.1	46.5
学生寮のある地域	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計対象から除いている(以下同様)。

【参考】平成22年国勢調査第1次試験調査の調査票の回収状況

地域特性、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数				当初回収				フォローアップ回収				聞き取り
		総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収	
実数	6,643	6,017	5,404	457	156	5,088	4,859	89	140	929	545	368	16	621
一戸建の多い地域	6,854	5,097	4,415	504	178	3,989	3,801	41	147	1,108	614	463	31	1,754
共同住宅の多い地域	4,787	3,784	3,587	165	32	3,214	3,170	16	28	570	417	149	4	992
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	2,915	1,552	1,463	70	19	1,258	1,229	12	17	294	234	58	2	1,359
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	2,549	1,908	1,716	173	19	1,551	1,471	63	17	357	245	110	2	633
外国人の多い地域														
構成比(%)	100.0	90.6	81.3	6.9	2.3	76.6	73.1	1.3	2.1	14.0	8.2	5.5	0.2	9.3
一戸建の多い地域	100.0	74.4	64.4	7.4	2.6	58.2	55.5	0.6	2.1	16.2	9.0	6.8	0.5	25.6
共同住宅の多い地域	100.0	79.0	74.9	3.4	0.7	67.1	66.2	0.3	0.6	11.9	8.7	3.1	0.1	20.7
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	100.0	53.2	50.2	2.4	0.7	43.2	42.2	0.4	0.6	10.1	8.0	2.0	0.1	46.6
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	74.9	67.3	6.8	0.7	60.8	57.7	2.5	0.7	14.0	9.6	4.3	0.1	24.8
外国人の多い地域														

《平成22年国勢調査第2次試験調査における市区町別の調査実施地域の特性》

	一戸建の多い地域	共同住宅の多い地域	建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	学生寮のある地域
岩手県北上市					
東京都豊島区					
神奈川県横浜市					
富山県高岡市					
大阪府大阪市					
兵庫県神戸市					
鳥取県米子市					
高知県佐川町					
長崎県佐世保市					

3 調査票提出の周知方法別の状況

調査票提出の周知方法別にみると、全体として調査票を回収した世帯の割合は、「多様な提出方法の並列周知型」のほうが高くなっている。

これを地域特性別にみると、すべての地域特性で「多様な提出方法の並列周知型」のほうに調査票を回収した世帯の割合が高くなっており、特に、建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションで、その割合が高くなっている。

地域特性、調査票提出の周知方法、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数						当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
総数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762	
強調周知型	6,553	5,172	4,494	123	501	43	4,403	4,121	123	125	34	758	373	376	9	1,381	
並列周知型	7,255	5,874	2,726	203	2,841	71	5,336	2,483	203	2,587	63	505	243	254	8	1,381	
一戸建の多い地域	4,808	4,508	2,896	76	1,473	41	4,161	2,777	76	1,274	34	325	119	199	7	300	
強調周知型	2,378	2,228	1,962	29	210	22	2,006	1,888	29	70	19	217	74	140	3	150	
並列周知型	2,430	2,281	934	47	1,263	19	2,155	889	47	1,204	15	108	45	59	4	149	
共同住宅の多い地域	5,098	3,888	2,486	94	1,237	51	3,386	2,238	94	1,009	45	482	248	228	6	1,210	
強調周知型	2,355	1,736	1,520	35	163	13	1,453	1,377	35	30	11	278	143	133	2	619	
並列周知型	2,743	2,152	966	59	1,074	38	1,933	861	59	979	34	204	105	95	4	591	
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	1,995	1,627	1,180	106	324	16	1,408	1,038	106	250	14	218	142	74	2	368	
強調周知型	982	767	680	39	42	5	635	583	39	10	3	131	97	32	2	215	
並列周知型	1,013	860	500	67	282	11	773	455	67	240	11	87	45	42	0	153	
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	1,903	1,019	658	50	304	6	780	551	50	175	4	238	107	129	2	884	
強調周知型	834	437	332	20	82	3	305	273	20	11	1	132	59	71	2	397	
並列周知型	1,069	582	326	30	222	3	475	278	30	164	3	106	48	58	0	487	
学生寮のある地域	4	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
強調周知型	4	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	
並列周知型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
総数	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0	
強調周知型	100.0	78.9	68.6	1.9	7.6	0.7	67.2	62.9	1.9	1.9	0.5	11.6	5.7	5.7	0.1	21.1	
並列周知型	100.0	81.0	37.6	2.8	39.2	1.0	73.5	34.2	2.8	35.7	0.9	7.0	3.3	3.5	0.1	19.0	
一戸建の多い地域	100.0	93.8	60.2	1.6	30.6	0.9	86.5	57.8	1.6	26.5	0.7	6.8	2.5	4.1	0.1	6.2	
強調周知型	100.0	93.7	82.5	1.2	8.8	0.9	84.4	79.4	1.2	2.9	0.8	9.1	3.1	5.9	0.1	6.3	
並列周知型	100.0	93.9	38.4	1.9	52.0	0.8	88.7	36.6	1.9	49.5	0.6	4.4	1.9	2.4	0.2	6.1	
共同住宅の多い地域	100.0	76.3	48.8	1.8	24.3	1.0	66.4	43.9	1.8	19.8	0.9	9.5	4.9	4.5	0.1	23.7	
強調周知型	100.0	73.7	64.5	1.5	6.9	0.6	61.7	58.5	1.5	1.3	0.5	11.8	6.1	5.6	0.1	26.3	
並列周知型	100.0	78.5	35.2	2.2	39.2	1.4	70.5	31.4	2.2	35.7	1.2	7.4	3.8	3.5	0.1	21.5	
建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンション	100.0	81.6	59.1	5.3	16.2	0.8	70.6	52.0	5.3	12.5	0.7	10.9	7.1	3.7	0.1	18.4	
強調周知型	100.0	78.1	69.2	4.0	4.3	0.5	64.7	59.4	4.0	1.0	0.3	13.3	9.9	3.3	0.2	21.9	
並列周知型	100.0	84.9	49.4	6.6	27.8	1.1	76.3	44.9	6.6	23.7	1.1	8.6	4.4	4.1	0.0	15.1	
ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域	100.0	53.5	34.6	2.6	16.0	0.3	41.0	29.0	2.6	9.2	0.2	12.5	5.6	6.8	0.1	46.5	
強調周知型	100.0	52.4	39.8	2.4	9.8	0.4	36.6	32.7	2.4	1.3	0.1	15.8	7.1	8.5	0.2	47.6	
並列周知型	100.0	54.4	30.5	2.8	20.8	0.3	44.4	26.0	2.8	15.3	0.3	9.9	4.5	5.4	0.0	45.6	
学生寮のある地域	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
強調周知型	100.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
並列周知型	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

4 調査票の種類別の状況

調査票の種類別にみると、調査票を回収した世帯の割合は、調査票の選択肢の説明を最小限に記述した調査票乙に比べ、調査票の選択肢の説明を従来と同様に記述した調査票甲のほうが高くなっている。

また、オンライン回収については、一部の調査項目に記入漏れがあっても送信が可能な仕様（調査票甲として集計）と、記入漏れがある場合には送信できない仕様（調査票乙として集計）の二種類の方法で調査を実施したところ、調査票を回収した世帯の割合は、調査票乙に比べ、調査票甲のほうが若干高くなっている。

調査票の種類、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り	
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
実数	総数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
	調査票甲	6,668	5,501	3,556	171	1,702	50	4,882	3,243	171	1,426	42	597	313	276	8	1,167
	調査票乙	7,140	5,545	3,664	155	1,640	64	4,857	3,361	155	1,286	55	666	303	354	9	1,595
構成比(%)	総数	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0
	調査票甲	100.0	82.5	53.3	2.6	25.5	0.7	73.2	48.6	2.6	21.4	0.6	9.0	4.7	4.1	0.1	17.5
	調査票乙	100.0	77.7	51.3	2.2	23.0	0.9	68.0	47.1	2.2	18.0	0.8	9.3	4.2	5.0	0.1	22.3

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

5 担当調査区内の世帯についての調査員の認知度別の状況

担当調査区内の世帯について調査員がどの程度知っていたかの別にみると、調査票を回収した世帯の割合は、調査区内の世帯をよく知っていた地域（92.3%）で高くなっている一方、ほとんど知らなかった地域（75.2%）で低くなっている。

配布調査員の調査区内世帯の認知度、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り	
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
実数	総数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
	よく知っていた	1,978	1,825	1,129	11	655	26	1,694	1,082	11	580	21	127	47	75	5	153
	多少知っていた	3,321	2,808	1,747	91	936	26	2,483	1,578	91	790	24	317	169	146	2	513
	ほとんど知らなかった	8,270	6,218	4,224	218	1,684	61	5,383	3,837	218	1,277	51	804	387	407	10	2,052
	無記入・不詳	239	194	119	6	67	1	179	107	6	65	1	14	12	2	0	45
構成比(%)	総数	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0
	よく知っていた	100.0	92.3	57.1	0.6	33.1	1.3	85.6	54.7	0.6	29.3	1.1	6.4	2.4	3.8	0.3	7.7
	多少知っていた	100.0	84.6	52.6	2.7	28.2	0.8	74.8	47.5	2.7	23.8	0.7	9.5	5.1	4.4	0.1	15.4
	ほとんど知らなかった	100.0	75.2	51.1	2.6	20.4	0.7	65.1	46.4	2.6	15.4	0.6	9.7	4.7	4.9	0.1	24.8
	無記入・不詳	100.0	81.2	49.8	2.5	28.0	0.4	74.9	44.8	2.5	27.2	0.4	5.9	5.0	0.8	0.0	18.8

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

これを調査票提出の周知方法別にみると、調査区内の世帯をよく知っていた地域で、「新たな提出方法の強調周知型」(88.7%)に比べ、「多様な提出方法の並列周知型」(96.8%)の調査票を回収した世帯の割合が特になくなっている。

配布調査員の調査区内世帯の認知度、調査票提出の周知方法、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数						当初回収					フォローアップ回収				聞き取り
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
実数	総数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
	強調周知型	6,553	5,172	4,494	123	501	43	4,403	4,121	123	125	34	758	373	376	9	1,381
	並列周知型	7,255	5,874	2,726	203	2,841	71	5,336	2,483	203	2,587	63	505	243	254	8	1,381
	よく知っていた	1,978	1,825	1,129	11	655	26	1,694	1,082	11	580	21	127	47	75	5	153
	強調周知型	1,110	985	887	6	71	19	891	843	6	26	16	92	44	45	3	125
	並列周知型	868	840	242	5	584	7	803	239	5	554	5	35	3	30	2	28
	多少知っていた	3,321	2,808	1,747	91	936	26	2,483	1,578	91	790	24	317	169	146	2	513
	強調周知型	1,498	1,256	1,078	27	141	7	1,053	980	27	39	7	200	98	102	0	242
	並列周知型	1,823	1,552	669	64	795	19	1,430	598	64	751	17	117	71	44	2	271
	ほとんど知らなかった	8,270	6,218	4,224	218	1,684	61	5,383	3,837	218	1,277	51	804	387	407	10	2,052
	強調周知型	3,896	2,887	2,488	89	288	17	2,426	2,267	89	59	11	456	221	229	6	1,009
	並列周知型	4,374	3,331	1,736	129	1,396	44	2,957	1,570	129	1,218	40	348	166	178	4	1,043
	無記入・不詳	239	194	119	6	67	1	179	107	6	65	1	14	12	2	0	45
	強調周知型	49	43	40	1	1	0	33	31	1	1	0	9	9	0	0	6
	並列周知型	190	151	79	5	66	1	146	76	5	64	1	5	3	2	0	39
	構成比(%)	総数	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1
強調周知型		100.0	78.9	68.6	1.9	7.6	0.7	67.2	62.9	1.9	1.9	0.5	11.6	5.7	5.7	0.1	21.1
並列周知型		100.0	81.0	37.6	2.8	39.2	1.0	73.5	34.2	2.8	35.7	0.9	7.0	3.3	3.5	0.1	19.0
よく知っていた		100.0	92.3	57.1	0.6	33.1	1.3	85.6	54.7	0.6	29.3	1.1	6.4	2.4	3.8	0.3	7.7
強調周知型		100.0	88.7	79.9	0.5	6.4	1.7	80.3	75.9	0.5	2.3	1.4	8.3	4.0	4.1	0.3	11.3
並列周知型		100.0	96.8	27.9	0.6	67.3	0.8	92.5	27.5	0.6	63.8	0.6	4.0	0.3	3.5	0.2	3.2
多少知っていた		100.0	84.6	52.6	2.7	28.2	0.8	74.8	47.5	2.7	23.8	0.7	9.5	5.1	4.4	0.1	15.4
強調周知型		100.0	83.8	72.0	1.8	9.4	0.5	70.3	65.4	1.8	2.6	0.5	13.4	6.5	6.8	0.0	16.2
並列周知型		100.0	85.1	36.7	3.5	43.6	1.0	78.4	32.8	3.5	41.2	0.9	6.4	3.9	2.4	0.1	14.9
ほとんど知らなかった		100.0	75.2	51.1	2.6	20.4	0.7	65.1	46.4	2.6	15.4	0.6	9.7	4.7	4.9	0.1	24.8
強調周知型		100.0	74.1	63.9	2.3	7.4	0.4	62.3	58.2	2.3	1.5	0.3	11.7	5.7	5.9	0.2	25.9
並列周知型		100.0	76.2	39.7	2.9	31.9	1.0	67.6	35.9	2.9	27.8	0.9	8.0	3.8	4.1	0.1	23.8
無記入・不詳		100.0	81.2	49.8	2.5	28.0	0.4	74.9	44.8	2.5	27.2	0.4	5.9	5.0	0.8	0.0	18.8
強調周知型		100.0	87.8	81.6	2.0	2.0	0.0	67.3	63.3	2.0	2.0	0.0	18.4	18.4	0.0	0.0	12.2
並列周知型		100.0	79.5	41.6	2.6	34.7	0.5	76.8	40.0	2.6	33.7	0.5	2.6	1.6	1.1	0.0	20.5

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

6 世帯主の年齢階級別の状況

調査票を回収した世帯について、調査票提出の周知方法ごとに、世帯主の年齢階級別の調査票の提出時期をみると、「新たな提出方法の強調周知型」と「多様な提出方法の並列周知型」のいずれも、当初回収期間では年齢階級が高いほど、フォローアップ回収期間では年齢階級が低いほど、おおむね調査票を回収した世帯の割合が高くなっている。

また、当初回収期間に調査票を回収した割合は、15歳未満以外のすべての年齢階級で、「新たな提出方法の強調周知型」に比べ、「多様な提出方法の並列周知型」のほうが高くなっている。

世帯主の年齢階級、調査票回収方法別世帯数

		強調周知型			並列周知型		
		総数 (注)	当初回収	フォローアップ 回収	総数 (注)	当初回収	フォローアップ 回収
実 数	総 数	5,172	4,403	758	5,874	5,336	505
	15歳未満	2	2	0	5	4	0
	15～19歳	64	40	24	71	55	16
	20～24歳	152	94	58	162	114	47
	25～29歳	200	142	58	262	212	50
	30～34歳	375	285	89	425	367	55
	35～39歳	425	348	77	464	407	53
	40～44歳	408	340	67	453	403	48
	45～49歳	360	306	54	455	414	37
	50～54歳	372	315	57	436	395	37
	55～59歳	537	474	61	577	534	41
	60～64歳	498	459	39	538	510	27
	65～69歳	428	395	32	465	448	12
	70～74歳	404	381	22	426	412	13
	75～79歳	352	333	19	372	361	9
	80～84歳	228	216	12	248	241	5
	85歳以上	146	131	14	144	140	4
	無記入・不詳	221	142	75	371	319	51
構 成 比 (%)	総 数	100.0	85.2	14.6	100.0	90.9	8.6
	15歳未満	100.0	100.0	0.0	100.0	80.0	0.0
	15～19歳	100.0	62.5	37.5	100.0	77.5	22.5
	20～24歳	100.0	61.8	38.2	100.0	70.4	29.0
	25～29歳	100.0	71.0	29.0	100.0	80.9	19.1
	30～34歳	100.0	76.0	23.7	100.0	86.4	12.9
	35～39歳	100.0	81.9	18.1	100.0	87.7	11.4
	40～44歳	100.0	83.3	16.4	100.0	89.0	10.6
	45～49歳	100.0	85.0	15.0	100.0	91.0	8.1
	50～54歳	100.0	84.7	15.3	100.0	90.6	8.5
	55～59歳	100.0	88.3	11.4	100.0	92.5	7.1
	60～64歳	100.0	92.2	7.8	100.0	94.8	5.0
	65～69歳	100.0	92.3	7.5	100.0	96.3	2.6
	70～74歳	100.0	94.3	5.4	100.0	96.7	3.1
	75～79歳	100.0	94.6	5.4	100.0	97.0	2.4
	80～84歳	100.0	94.7	5.3	100.0	97.2	2.0
	85歳以上	100.0	89.7	9.6	100.0	97.2	2.8
	無記入・不詳	100.0	64.5	34.1	100.0	86.5	13.5

(注) 回収時期の不詳を含む

7 フォローアップ回収事務調査員の配置方法別の状況

フォローアップ回収事務調査員の配置方法別にみると、調査票を回収した世帯の割合は、「フォローアップ回収事務調査員継続型」(78.4%)に比べ、「フォローアップ回収事務調査員縮小型(フォローアップ回収は調査票配布の調査員とは別の者)」(81.6%)のほうが若干高くなっている。

これを調査票の回収時期別にみると、調査票を回収した世帯の割合は、当初の回収期間、フォローアップ回収期間のいずれも、「フォローアップ回収事務調査員縮小型(フォローアップ回収は調査票配布の調査員とは別の者)」のほうが若干高くなっている。

フォローアップ回収事務調査員の配置方法、調査票回収方法別世帯数

	総数	総数					当初回収					フォローアップ回収				聞き取り	
		総数(注)	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	オンライン回収	調査員回収	持参回収	総数	郵送回収	調査員回収	持参回収		
実数	総数	13,808	11,046	7,220	326	3,342	114	9,739	6,604	326	2,712	97	1,263	616	630	17	2,762
	調査員継続型	6,713	5,265	3,520	176	1,482	64	4,647	3,237	176	1,177	57	595	283	305	7	1,448
	調査員縮小型	7,095	5,781	3,700	150	1,860	50	5,092	3,367	150	1,535	40	668	333	325	10	1,314
	フォローアップ回収は調査票配布の調査員と同一の者	3,564	2,900	1,911	83	867	30	2,573	1,750	83	715	25	318	161	152	5	664
	フォローアップ回収は調査票配布の調査員とは別の者	3,531	2,881	1,789	67	993	20	2,519	1,617	67	820	15	350	172	173	0	650
構成比(%)	総数	100.0	80.0	52.3	2.4	24.2	0.8	70.5	47.8	2.4	19.6	0.7	9.1	4.5	4.6	0.1	20.0
	調査員継続型	100.0	78.4	52.4	2.6	22.1	1.0	69.2	48.2	2.6	17.5	0.8	8.9	4.2	4.5	0.1	21.6
	調査員縮小型	100.0	81.5	52.1	2.1	26.2	0.7	71.8	47.5	2.1	21.6	0.6	9.4	4.7	4.6	0.1	18.5
	フォローアップ回収は調査票配布の調査員と同一の者	100.0	81.4	53.6	2.3	24.3	0.8	72.2	49.1	2.3	20.1	0.7	8.9	4.5	4.3	0.1	18.6
	フォローアップ回収は調査票配布の調査員とは別の者	100.0	81.6	50.7	1.9	28.1	0.6	71.3	45.8	1.9	23.2	0.4	9.9	4.9	4.9	0.0	18.4

(注) 回収時期及び回収方法の不詳を含む

調査票の記入状況

1 調査票の記入不備の有無の状況

第1次試験調査では、調査票のOCR入力は、(独)統計センターにおいて行った。一方、第2次試験調査では、世帯からの調査票の郵送提出先を総務省統計局とし、市区町に提出された調査票と併せて、民間業者においてOCR入力を行った。市区町における審査は、民間業者が入力したデータをデータ訂正システム(パソコン)により訂正する方法で行ったが、以下の調査票の記入状況の分析に当たっては、第1・2次試験調査での調査票のOCR入力時の読取り精度の相違による影響を排除するため、第2次試験調査の調査票を(独)統計センターにおいて再度OCR入力したデータを用いている。

なお、調査票を回収した世帯のうち、人口・世帯に関する統計を集計する上で最も基本的な調査項目である「男女の別」及び「出生の年月」が記入漏れで、「世帯主との続き柄」、「配偶の関係」又は「国籍」のいずれか一つでも記入漏れ(調査票第1面・第2面ともに白紙を含む)がある世帯や、聞き取り世帯については、集計対象から除外している。また、調査区番号が不詳の調査票については、地域特性を特定できないため、集計から除外している。

(1) 全体の状況

調査項目に記入漏れ、ダブルマーク等の記入不備のある世帯数は7,927世帯(71.9%)、記入不備のない世帯数は3,102世帯(28.1%)となっている。

調査項目別にみると、世帯に関する調査項目(以下「世帯項目」という。)に記入不備のある世帯数は5,077世帯(46.0%)、世帯員に関する調査項目(以下「世帯員項目」という。)に記入不備のある世帯は6,092世帯(55.2%)となっている。

記入不備状況別世帯数

	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち			(別掲) 調査票第1面・第2面ともに白紙
				世帯項目に記入不備のある世帯	世帯員項目に記入不備のある世帯	うち第2面が白紙	
総数	11,029	3,102	7,927	5,077	6,092	221	2
構成比(%)	100.0	28.1	71.9	46.0	55.2	2.0	-

【参考】平成22年国勢調査第1次試験調査の調査票の記入不備状況

記入不備状況別世帯数

	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち			(別掲) 調査票第1面・第2面ともに白紙
				世帯項目に記入不備のある世帯	世帯員項目に記入不備のある世帯	うち第2面が白紙	
総数	18,322	3,978	14,344	7,338	11,899	15	52
構成比(%)	100.0	21.7	78.3	40.1	64.9	0.1	-

また、調査票1枚当たりの記入不備件数をみると、総数1.92件となっており、そのうち、記入漏れが1.71件、記入誤りが0.21件となっている。

調査票1枚当たりの記入不備件数

	記 入 不 備						
	総 数	記入漏れ	記入誤り	うち調査項目間の記入の不整合	うちダブルマーク	うち右づめ誤り	うち規定コード [*] 以外
総 数	1.92	1.71	0.21	0.06	0.10	0.01	0.04

【参考】平成22年国勢調査第1次試験調査の記入不備件数

調査票1枚当たりの記入不備件数

	記 入 不 備					
	総 数	記入漏れ	記入誤り	うちダブルマーク	うち右づめ誤り	うち規定コード [*] 以外
総 数	2.77	2.51	0.26	0.14	0.07	0.06

【参考】平成22年国勢調査第1・2次試験調査と平成17年国勢調査第1次試験調査との比較

調査票1枚当たりの記入漏れ件数

	平成22年国勢調査 第2次試験調査	平成22年国勢調査 第1次試験調査	平成17年国勢調査 第1次試験調査		
			郵送方式	全封入方式	
男女の別	0.03	0.02	0.01	0.01	
世帯主との続き柄	0.06	0.03	0.06	0.03	
出生の年月	元号・西暦	0.08	0.07	0.14	0.10
	年月	0.08	0.03	0.15	0.06
配偶の関係	0.17	0.14	0.17	0.13	
国籍(区分)	0.06	0.04	0.10	0.06	
就業状態	0.17	0.19	0.20	0.15	
従業地又は通学地(区分)	0.19	0.19	0.21	0.21	
勤めか自営かの別	0.05	0.05	0.06	0.04	
世帯員の数	0.01	0.24	0.04	0.05	
住居の種類	0.02	0.03	0.03	0.02	
住宅の建て方	0.02	0.03	0.05	0.05	
住宅の床面積の合計	0.05	0.08	0.12	0.08	

共通調査項目のみ

(2) 調査票の回収方法別の状況

調査票の回収方法別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、オンライン回収が77.9%と最も高く、次いで持参回収(47.4%)、調査員回収(31.3%)、郵送回収(24.0%)の順となっている。

調査票回収方法、記入不備状況別世帯数

	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち			(別掲)調査票第1面・第2面とも白紙	
				世帯項目に記入不備のある世帯	世帯員項目に記入不備のある世帯	第2面が白紙		
実数	総数(注)	11,029	3,102	7,927	5,077	6,092	221	2
	郵送回収	7,210	1,733	5,477	3,767	4,043	95	1
	オンライン回収	326	254	72	6	68	0	0
	調査員回収	3,337	1,044	2,293	1,256	1,913	120	1
	持参回収	114	54	60	32	48	2	0
構成比(%)	総数	100.0	28.1	71.9	46.0	55.2	2.0	0.0
	郵送回収	100.0	24.0	76.0	52.2	56.1	1.3	0.0
	オンライン回収	100.0	77.9	22.1	1.8	20.9	0.0	0.0
	調査員回収	100.0	31.3	68.7	37.6	57.3	3.6	0.0
	持参回収	100.0	47.4	52.6	28.1	42.1	1.8	0.0

(注) 回収方法の不詳を含む

(3) 調査票の種類別の状況

調査票の種類別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、郵送回収及び持参回収では調査票甲(22.3%、46.0%)に比べて調査票乙(25.7%、48.4%)のほうが若干高くなっている一方、調査員回収では、調査票甲(31.8%)と調査票乙(30.8%)で差異はなかった。

また、オンライン回収については、一部の調査項目に記入漏れがあっても送信が可能な仕様(調査票甲として集計)と、記入漏れがある場合には送信できない仕様(調査票乙として集計)の二種類の方法で調査を実施したが、調査票の記入不備のない世帯の割合は、調査票甲(76.6%)に比べて調査票乙(79.4%)のほうが若干高くなっている。

調査票の種類、調査票回収方法、記入不備状況別世帯数

	調査票甲							調査票乙							
	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち世帯項目に記入不備のある世帯	うち世帯員項目に記入不備のある世帯	うち第2面が白紙	(別掲)調査票第1面・第2面とも白紙	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち世帯項目に記入不備のある世帯	うち世帯員項目に記入不備のある世帯	うち第2面が白紙	(別掲)調査票第1面・第2面とも白紙	
実数	総数(注)	5,491	1,495	3,996	2,645	2,984	165	0	5,538	1,607	3,931	2,432	3,108	56	2
	郵送回収	3,550	793	2,757	1,987	1,988	63	0	3,660	940	2,720	1,780	2,055	32	1
	オンライン回収	171	131	40	2	39	0	0	155	123	32	4	29	0	0
	調査員回収	1,699	540	1,159	635	925	97	0	1,638	504	1,134	621	988	23	1
	持参回収	50	23	27	13	21	2	0	64	31	33	19	27	0	0
構成比(%)	総数	100.0	27.2	72.8	48.2	54.3	3.0	0.0	100.0	29.0	71.0	43.9	56.1	1.0	0.0
	郵送回収	100.0	22.3	77.7	56.0	56.0	1.8	0.0	100.0	25.7	74.3	48.6	56.1	0.9	0.0
	オンライン回収	100.0	76.6	23.4	1.2	22.8	0.0	0.0	100.0	79.4	20.6	2.6	18.7	0.0	0.0
	調査員回収	100.0	31.8	68.2	37.4	54.4	5.7	0.0	100.0	30.8	69.2	37.9	60.3	1.4	0.1
	持参回収	100.0	46.0	54.0	26.0	42.0	4.0	0.0	100.0	48.4	51.6	29.7	42.2	0.0	0.0

(4) 建物属性・世帯属性別の状況

建物属性別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯が35.6%と最も高く、次いで住宅の建て方が「共同住宅」でオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯が31.3%となっている。

また、世帯属性別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は、ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯が34.7%と最も高く、次いで夫婦のみの世帯が31.3%となっている。

建物属性・世帯属性、記入不備状況別世帯数

		総 数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち			
					世帯項目に記入不備のある世帯	世帯員項目に記入不備のある世帯	うち第2面が白紙	
実数	建物属性	総 数	11,029	3,102	7,927	5,077	6,092	221
		住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯	5,730	1,542	4,188	2,332	3,495	124
		建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯	1,624	578	1,046	627	787	12
		住宅の建て方が「共同住宅」で上記のオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯	2,863	895	1,968	1,472	1,254	28
		上記以外の世帯	812	87	725	646	556	57
	世帯属性	総 数	11,029	3,102	7,927	5,077	6,092	221
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	714	248	466	377	265	23
		上記以外の単身世帯	2,331	695	1,636	1,236	1,079	69
		夫婦のみの世帯	2,147	673	1,474	851	1,163	35
		上記以外の世帯	5,837	1,486	4,351	2,613	3,585	94
(別掲)学校の学生寮・寄宿舎の世帯		11	3	8	6	7	0	
構成比(%)	建物属性	総 数	100.0	28.1	71.9	46.0	55.2	2.0
		住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯	100.0	26.9	73.1	40.7	61.0	2.2
		建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯	100.0	35.6	64.4	38.6	48.5	0.7
		住宅の建て方が「共同住宅」で上記のオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯	100.0	31.3	68.7	51.4	43.8	1.0
		上記以外の世帯	100.0	10.7	89.3	79.6	68.5	7.0
	世帯属性	総 数	100.0	28.1	71.9	46.0	55.2	2.0
		ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯	100.0	34.7	65.3	52.8	37.1	3.2
		上記以外の単身世帯	100.0	29.8	70.2	53.0	46.3	3.0
		夫婦のみの世帯	100.0	31.3	68.7	39.6	54.2	1.6
		上記以外の世帯	100.0	25.5	74.5	44.8	61.4	1.6
(別掲)学校の学生寮・寄宿舎の世帯		100.0	27.3	72.7	54.5	63.6	0.0	

(5) 世帯主の年齢階級別の状況

世帯主の年齢階級別にみると、調査票の記入不備のない世帯の割合は 20～24 歳から 50～54 歳で比較的高くなっている。

世帯主の年齢階級、記入不備状況別世帯数

	総数	記入不備のない世帯	記入不備のある世帯	うち	うち	うち 第2面 が白紙	
				世帯項目 に記入不備 のある世帯	世帯員項目 に記入不備 のある世帯		
実 数	総数	11,029	3,102	7,927	5,077	6,092	221
	15歳未満	8	2	6	6	5	1
	15～19歳	134	40	94	73	48	0
	20～24歳	313	106	207	182	108	4
	25～29歳	460	154	306	234	186	6
	30～34歳	802	302	500	367	315	5
	35～39歳	888	300	588	393	392	7
	40～44歳	859	286	573	360	415	5
	45～49歳	812	270	542	333	415	4
	50～54歳	806	252	554	349	419	8
	55～59歳	1,110	296	814	500	622	7
	60～64歳	1,035	248	787	458	645	14
	65～69歳	895	226	669	404	555	20
	70～74歳	830	174	656	388	578	29
	75～79歳	725	175	550	338	475	23
	80～84歳	479	115	364	218	301	26
	85歳以上	290	68	222	146	178	14
	無記入・不詳	583	88	495	328	435	48
構 成 比 (%)	総数	100.0	28.1	71.9	46.0	55.2	2.0
	15歳未満	100.0	25.0	75.0	75.0	62.5	12.5
	15～19歳	100.0	29.9	70.1	54.5	35.8	0.0
	20～24歳	100.0	33.9	66.1	58.1	34.5	1.3
	25～29歳	100.0	33.5	66.5	50.9	40.4	1.3
	30～34歳	100.0	37.7	62.3	45.8	39.3	0.6
	35～39歳	100.0	33.8	66.2	44.3	44.1	0.8
	40～44歳	100.0	33.3	66.7	41.9	48.3	0.6
	45～49歳	100.0	33.3	66.7	41.0	51.1	0.5
	50～54歳	100.0	31.3	68.7	43.3	52.0	1.0
	55～59歳	100.0	26.7	73.3	45.0	56.0	0.6
	60～64歳	100.0	24.0	76.0	44.3	62.3	1.4
	65～69歳	100.0	25.3	74.7	45.1	62.0	2.2
	70～74歳	100.0	21.0	79.0	46.7	69.6	3.5
	75～79歳	100.0	24.1	75.9	46.6	65.5	3.2
	80～84歳	100.0	24.0	76.0	45.5	62.8	5.4
	85歳以上	100.0	23.4	76.6	50.3	61.4	4.8
	無記入・不詳	100.0	15.1	84.9	56.3	74.6	8.2

2 世帯員項目の記入状況

(1) 全体の状況

世帯員項目全体での記入不備の割合は6.3%であり、記入不備の内容としては記入漏れの割合が最も高くなっている。

	総 数	正記入	記入不備					(別掲) 市区町 訂正可
			総 数	記入 漏れ	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外	
総 数	100.0	93.7	6.3	5.8	0.3	0.0	0.1	5.9

(2) 世帯員項目別の状況

世帯員項目別にみると、「在学か否かの別」が18.1%、「学校区分」が13.3%と「在学、卒業等教育の状況」の記入不備の割合が高くなっている。また、「就業状態」及び「従業地又は通学地(区分)」の記入不備の割合が10%以上となっている。

	総 数	正記入	記入不備					(別掲) 市区町 訂正可	
			総 数	記入 漏れ	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外		
総 数	100.0	93.7	6.3	5.8	0.3	0.0	0.1	5.9	
男女の別	100.0	98.1	1.9	1.8	0.1	-	0.0	0.9	
世帯主との続き柄	100.0	96.7	3.3	3.0	0.3	-	0.0	4.2	
出生の年月	元号・西暦	100.0	95.6	4.4	4.3	0.1	-	0.0	3.3
	年	100.0	97.2	2.8	1.9	-	0.1	0.8	6.0
	月	100.0	96.8	3.2	2.1	-	0.1	0.9	13.4
配偶の関係	100.0	91.2	8.8	8.7	0.1	-	0.0	5.3	
国籍(区分)	100.0	96.8	3.2	3.2	0.0	-	0.0	1.2	
現在の住居における居住期間	100.0	96.9	3.1	2.8	0.3	-	0.0	1.7	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	93.5	6.5	6.5	0.1	-	0.0	4.1	
在学、卒業等 教育の状況	在学か否かの別	100.0	81.9	18.1	18.0	0.1	-	0.0	14.3
	学校区分	100.0	86.7	13.3	12.9	0.4	-	0.0	14.0
就業状態	100.0	89.2	10.8	8.9	1.9	-	0.0	7.3	
従業地又は通学地(区分)	100.0	89.7	10.3	10.2	0.1	-	0.0	8.0	
利用交通手段	100.0	98.8	1.2	0.4	0.7	-	0.0	1.6	
勤めか自営かの別	100.0	96.6	3.4	2.7	0.8	-	0.0	2.3	

(3) 調査票の種類別の状況

調査票の種類別にみると、記入不備の割合は、「出生の年月」、「国籍」、「5年前の住居の所在地」、「在学、卒業等教育の状況」及び「従業地又は通学地」の説明文を簡略化した調査票乙のほうが、調査票甲に比べておおむね高くなっている。

また、「勤めか自営かの別」の選択肢の配列の違いによる記入状況について、差異はなかった。

調査票の種類、世帯員項目別記入不備率

(%)

	調査票甲									調査票乙								
	総数	正記入	記入不備					(別掲)市区町訂正可	総数	正記入	記入不備					(別掲)市区町訂正可		
			総数	記入漏れ	ダブルマーク	右づめ誤り	規定コード以外				総数	記入漏れ	ダブルマーク	右づめ誤り	規定コード以外			
総数	100.0	94.3	5.7	5.3	0.3	0.0	0.1	5.8	100.0	93.1	6.9	6.4	0.4	0.0	0.1	6.1		
男女の別	100.0	99.2	0.8	0.8	0.1	-	0.0	0.8	100.0	97.1	2.9	2.8	0.1	-	0.0	1.0		
世帯主との続柄	100.0	97.6	2.4	2.1	0.3	-	0.0	3.1	100.0	95.8	4.2	3.8	0.3	-	0.0	5.3		
出生の年月	元号・西暦	100.0	96.1	3.9	3.7	0.1	-	0.0	3.4	100.0	95.0	5.0	4.9	0.1	-	0.0	3.2	
	年	100.0	98.1	1.9	1.1	-	0.1	0.7	5.2	100.0	96.3	3.7	2.7	-	0.1	0.9	6.8	
	月	100.0	97.7	2.3	1.4	-	0.1	0.8	13.1	100.0	95.9	4.1	2.9	-	0.2	1.0	13.7	
配偶の関係	100.0	92.0	8.0	8.0	0.0	-	0.0	5.4	100.0	90.5	9.5	9.4	0.1	-	0.0	5.2		
国籍(区分)	100.0	97.7	2.3	2.3	0.0	-	0.0	1.0	100.0	95.8	4.2	4.1	0.0	-	0.0	1.4		
現在の住居における居住期間	100.0	97.6	2.4	2.1	0.4	-	0.0	1.6	100.0	96.3	3.7	3.4	0.3	-	0.0	1.9		
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	93.2	6.8	6.8	0.1	-	0.0	3.8	100.0	93.8	6.2	6.1	0.1	-	0.0	4.3		
在学、卒業等教育の状況	在学か否かの別	100.0	83.3	16.7	16.5	0.1	-	0.0	18.2	100.0	80.4	19.6	19.5	0.1	-	0.0	10.4	
	学校区分	100.0	86.1	13.9	13.4	0.5	-	0.0	12.3	100.0	87.3	12.7	12.3	0.4	-	0.0	15.7	
就業状態	100.0	89.9	10.1	8.4	1.7	-	0.0	7.0	100.0	88.6	11.4	9.4	2.0	-	0.0	7.5		
従業地又は通学地(区分)	100.0	89.8	10.2	10.1	0.1	-	0.0	7.9	100.0	89.6	10.4	10.3	0.1	-	0.0	8.1		
利用交通手段	100.0	98.9	1.1	0.4	0.8	-	0.0	1.5	100.0	98.8	1.2	0.5	0.7	-	0.0	1.7		
勤めか自営かの別	100.0	96.7	3.3	2.7	0.6	-	0.0	1.5	100.0	96.5	3.5	2.6	0.9	-	0.0	3.2		

【参考】

平成 22 年国勢調査第 2 次試験調査調査票 (調査票甲)

8 教育

・現在 学校に在学しているかどうかについて記入したうえで 失印に従って記入してください

・在学中の人はその学校 卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください

在学中 卒業 未就学

小学 中学 高校 旧中 短大 高等 大学 大学院 幼稚園 保育園 保育所 乳児 その他

(調査票乙)

8 教育

・在学中の人はその学校 卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください

在学中 卒業 未就学

小学 中学 高校 旧中 短大 高等 大学 大学院 幼稚園 保育園 保育所 乳児 その他

平成 22 年国勢調査第 2 次試験調査調査票 (調査票甲)

12 勤めか 自営かの別

・労働者派遣事業所の派遣社員とは 労働派遣法に基づいて働いている人をいいます

・パート・アルバイト・その他には 契約社員 嘱託なども含めます

・自営業主とは 個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自由業の人をいいます

雇われている人 雇われている人以外

正規の職員・従業員 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員

自営業主 雇人あり 雇人なし 家族従業員 家庭内の責任者 内職

(調査票乙)

12 勤めか 自営かの別

・労働者派遣事業所の派遣社員とは 労働派遣法に基づいて働いている人をいいます

・パート・アルバイト・その他には 契約社員 嘱託なども含めます

・自営業主とは 個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自由業の人をいいます

雇われている人 雇われている人以外

正規の職員・従業員 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 雇人あり 雇人なし

自営業主 雇人あり 雇人なし 家族従業員 家庭内の責任者 内職

(4) 調査票提出の周知方法別の状況

調査票提出の周知方法別にみると、記入不備の割合は、「新たな提出方法の強調周知型」(6.1%)と「多様な提出方法の並列周知型」(6.5%)で差異はなかった。

調査票提出の周知方法、世帯員項目別記入不備率

(%)

	強調周知型								並列周知型								
	総数	正記入	記入不備					(別掲)市区町 訂正可	総数	正記入	記入不備					(別掲)市区町 訂正可	
			総数	記入漏れ	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外				総数	記入漏れ	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外		
総数	100.0	93.9	6.1	5.6	0.3	0.0	0.1	6.6	100.0	93.5	6.5	6.1	0.3	0.0	0.1	5.4	
男女の別	100.0	98.7	1.3	1.3	0.1	-	0.0	1.1	100.0	97.7	2.3	2.2	0.1	-	0.0	0.7	
世帯主との続き柄	100.0	97.1	2.9	2.6	0.3	-	0.0	4.0	100.0	96.3	3.7	3.3	0.4	-	0.0	4.3	
出生の年月	元号・西暦	100.0	96.0	4.0	3.9	0.1	-	0.0	3.6	100.0	95.2	4.8	4.7	0.1	-	0.0	3.0
	年	100.0	97.6	2.4	1.4	-	0.1	0.9	6.1	100.0	96.8	3.2	2.4	-	0.1	0.7	5.9
	月	100.0	97.3	2.7	1.6	-	0.1	1.0	14.1	100.0	96.4	3.6	2.7	-	0.1	0.8	12.8
配偶の関係	100.0	91.2	8.8	8.7	0.1	-	0.0	5.8	100.0	91.2	8.8	8.7	0.1	-	0.0	4.8	
国籍(区分)	100.0	97.1	2.9	2.8	0.1	-	0.0	1.2	100.0	96.4	3.6	3.5	0.0	-	0.0	1.2	
現在の住居における居住期間	100.0	97.5	2.5	2.2	0.3	-	0.0	1.6	100.0	96.4	3.6	3.2	0.4	-	0.0	1.9	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	93.5	6.5	6.4	0.1	-	0.0	4.8	100.0	93.5	6.5	6.5	0.1	-	0.0	3.4	
在学、卒業等 教育の状況	在学か否かの別	100.0	81.8	18.2	18.1	0.1	-	0.0	17.7	100.0	81.9	18.1	17.9	0.1	-	0.0	11.4
	学校区分	100.0	87.1	12.9	12.5	0.4	-	0.0	16.7	100.0	86.4	13.6	13.2	0.4	-	0.0	11.6
就業状態	100.0	89.3	10.7	8.9	1.8	-	0.0	7.9	100.0	89.2	10.8	8.9	1.9	-	0.0	6.7	
従業地又は通学地(区分)	100.0	89.7	10.3	10.2	0.1	-	0.0	8.5	100.0	89.6	10.4	10.3	0.1	-	0.0	7.5	
利用交通手段	100.0	98.8	1.2	0.4	0.7	-	0.0	1.9	100.0	98.8	1.2	0.4	0.7	-	0.0	1.3	
勤めか自営かの別	100.0	96.4	3.6	2.8	0.8	-	0.0	2.8	100.0	96.7	3.3	2.6	0.7	-	0.0	1.9	

(5) 建物属性・世帯属性別の状況

建物属性別にみると、記入不備の割合は、建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯員が4.0%と最も低く、次いで住宅の建て方が「共同住宅」でオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯員が4.9%となっている。

また、世帯属性別にみると、記入不備の割合は、ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯が5.4%と最も低く、次いで左記以外の世帯の世帯員が6.1%となっている。

建物属性、世帯員項目別記入不備率

(%)

	住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯			建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯			住宅の建て方が「共同住宅」で左記のオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯			左記以外の世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	93.2	6.8	100.0	96.0	4.0	100.0	95.1	4.9	100.0	87.5	12.5	
男女の別	100.0	97.7	2.3	100.0	99.5	0.5	100.0	98.6	1.4	100.0	97.7	2.3	
世帯主との続き柄	100.0	96.5	3.5	100.0	98.7	1.3	100.0	97.2	2.8	100.0	91.6	8.4	
出生の年月	元号・西暦	100.0	95.0	5.0	100.0	97.4	2.6	100.0	97.0	3.0	100.0	91.5	8.5
	年	100.0	97.1	2.9	100.0	98.4	1.6	100.0	97.9	2.1	100.0	92.6	7.4
	月	100.0	96.8	3.2	100.0	98.2	1.8	100.0	97.3	2.7	100.0	91.8	8.2
配偶の関係	100.0	90.3	9.7	100.0	95.0	5.0	100.0	93.9	6.1	100.0	81.5	18.5	
国籍(区分)	100.0	96.7	3.3	100.0	97.8	2.2	100.0	98.0	2.0	100.0	90.5	9.5	
現在の住居における居住期間	100.0	96.5	3.5	100.0	99.3	0.7	100.0	97.7	2.3	100.0	91.6	8.4	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	93.9	6.1	100.0	94.7	5.3	100.0	92.6	7.4	100.0	92.5	7.5	
在学、卒業等教育の状況	在学、卒業の別	100.0	80.3	19.7	100.0	88.3	11.7	100.0	86.4	13.6	100.0	65.8	34.2
	学校区分	100.0	86.3	13.7	100.0	91.9	8.1	100.0	88.3	11.7	100.0	71.9	28.1
就業状態	100.0	87.9	12.1	100.0	94.8	5.2	100.0	92.9	7.1	100.0	76.3	23.7	
従業地又は通学地(区分)	100.0	89.3	10.7	100.0	90.4	9.6	100.0	90.9	9.1	100.0	87.8	12.2	
利用交通手段	100.0	99.0	1.0	100.0	97.9	2.1	100.0	99.2	0.8	100.0	98.7	1.3	
勤めか自営かの別	100.0	96.0	4.0	100.0	97.7	2.3	100.0	97.7	2.3	100.0	95.0	5.0	

世帯属性、世帯員項目別記入不備率

(%)

	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯			左記の地域以外の単身世帯			夫婦のみの世帯			左記以外の世帯			(別掲)学校の学生寮・寄宿舎の世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	94.6	5.4	100.0	92.3	7.7	100.0	93.3	6.7	100.0	93.9	6.1	100.0	94.7	5.3	
男女の別	100.0	99.2	0.8	100.0	99.2	0.8	100.0	99.4	0.6	100.0	97.7	2.3	100.0	96.7	3.3	
世帯主との続き柄	100.0	94.1	5.9	100.0	93.9	6.1	100.0	99.9	0.1	100.0	96.4	3.6	100.0	94.6	5.4	
出生の年月	元号・西暦	100.0	98.2	1.8	100.0	96.4	3.6	100.0	95.7	4.3	100.0	95.3	4.7	100.0	96.7	3.3
	年	100.0	96.9	3.1	100.0	97.1	2.9	100.0	98.2	1.8	100.0	97.0	3.0	100.0	95.7	4.3
	月	100.0	96.6	3.4	100.0	96.0	4.0	100.0	98.1	1.9	100.0	96.6	3.4	100.0	91.3	8.7
配偶の関係	100.0	94.1	5.9	100.0	93.1	6.9	100.0	88.4	11.6	100.0	91.5	8.5	100.0	93.5	6.5	
国籍(区分)	100.0	98.6	1.4	100.0	97.4	2.6	100.0	98.1	1.9	100.0	96.4	3.6	100.0	96.7	3.3	
現在の住居における居住期間	100.0	98.2	1.8	100.0	97.2	2.8	100.0	98.7	1.3	100.0	96.5	3.5	100.0	95.7	4.3	
5年前の住居の所在地(区分)	100.0	95.7	4.3	100.0	93.2	6.8	100.0	94.6	5.4	100.0	93.2	6.8	100.0	97.8	2.2	
在学、卒業等教育の状況	在学、卒業の別	100.0	84.0	16.0	100.0	71.6	28.4	100.0	74.6	25.4	100.0	84.4	15.6	100.0	94.6	5.4
	学校区分	100.0	87.1	12.9	100.0	78.6	21.4	100.0	82.2	17.8	100.0	88.5	11.5	100.0	92.4	7.6
就業状態	100.0	89.8	10.2	100.0	85.7	14.3	100.0	87.1	12.9	100.0	90.0	10.0	100.0	93.5	6.5	
従業地又は通学地(区分)	100.0	91.9	8.1	100.0	91.2	8.8	100.0	91.6	8.4	100.0	89.0	11.0	100.0	90.0	10.0	
利用交通手段	100.0	98.8	1.2	100.0	99.3	0.7	100.0	99.5	0.5	100.0	98.6	1.4	100.0	96.3	3.7	
勤めか自営かの別	100.0	97.1	2.9	100.0	95.3	4.7	100.0	94.9	5.1	100.0	97.0	3.0	100.0	95.6	4.4	

3 世帯項目の記入状況

(1) 全体の状況

世帯項目全体での記入不備の割合は4.6%であり、記入不備の内容としては記入漏れの割合が最も高くなっている。

記入不備率 (%)

	総数	正記入	記入不備						(別掲)市区町 訂正可
			総数	記入漏れ	記入誤り	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外	
総数	100.0	95.4	4.6	2.7	1.5	0.1	0.1	0.3	5.1

(2) 世帯項目別の状況

世帯項目別にみると、「電話番号」と「世帯員の数」の記入不備の割合が10%以上となっている。

世帯項目別記入不備率 (%)

	総数	正記入	記入不備						(別掲)市区町 訂正可	
			総数	記入漏れ	記入誤り	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外		
総数	100.0	95.4	4.6	2.7	1.5	0.1	0.1	0.3	5.1	
世帯員の数	100.0	89.9	10.1	0.9	7.5	-	0.3	1.4	11.0	
住居の種類	100.0	96.5	3.5	3.4	0.0	0.1	-	0.0	2.2	
住宅の建て方	100.0	96.8	3.2	3.1	0.0	0.1	-	0.0	3.3	
うち 共同住宅	建物全体の階数	100.0	99.6	0.4	0.3	0.0	-	0.0	0.1	2.9
	住宅のある階数	100.0	99.1	0.9	0.9	0.0	-	0.0	0.0	3.5
住宅の床面積の合計	100.0	91.1	8.9	8.4	0.0	0.5	0.0	0.0	6.2	
別掲(電話番号)	100.0	85.8	14.2	14.2	0.0	-	-	0.0	0.0	

(3) 調査票の種類別の状況

調査票の種類別にみると、記入不備の割合は、「世帯員の数」について記入上の注意に関する内容を削除した調査票乙のほうが、調査票甲に比べておおむね高くなっている。

また、「電話番号」について、調査票甲では調査票の下部に、調査票乙では調査票の上部に配置したところ、記入不備の割合は、調査票乙に比べて調査票甲のほうが高くなっている。

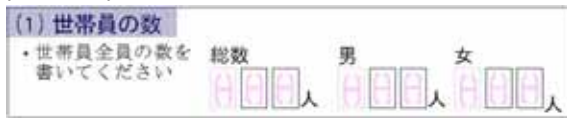
調査票の種類、世帯項目別記入不備率

(%)

	調査票甲									調査票乙									
	総数	正記入	記入不備						(別掲)市区町 訂正可	総数	正記入	記入不備						(別掲)市区町 訂正可	
			総数	記入漏れ	記入誤り	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外				総数	記入漏れ	記入誤り	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外		
総数	100.0	95.9	4.1	2.5	1.1	0.1	0.1	0.3	4.7	100.0	94.8	5.2	2.9	1.8	0.1	0.1	0.3	5.4	
世帯員の数	100.0	91.9	8.1	0.8	5.7	-	0.4	1.3	11.2	100.0	87.8	12.2	1.0	9.3	-	0.3	1.6	10.9	
住居の種類	100.0	96.8	3.2	3.1	0.0	0.1	-	0.0	1.7	100.0	96.3	3.7	3.6	0.0	0.1	-	0.0	2.6	
住宅の建て方	100.0	96.9	3.1	3.0	0.0	0.0	-	0.0	2.9	100.0	96.6	3.4	3.2	0.0	0.1	-	0.0	3.8	
共同住宅	建物全体の階数	100.0	99.5	0.5	0.3	0.0	-	0.0	0.1	2.6	100.0	99.7	0.3	0.2	0.0	-	0.0	0.0	3.1
	住宅のある階数	100.0	99.1	0.9	0.8	0.0	-	0.0	0.1	3.0	100.0	99.0	1.0	0.9	0.0	-	0.0	0.0	4.0
住宅の床面積の合計	100.0	91.6	8.4	7.7	0.0	0.7	-	0.0	5.1	100.0	90.6	9.4	9.1	0.0	0.3	-	0.0	7.2	
別掲(電話番号)	100.0	79.5	20.5	20.5	0.0	-	-	0.0	0.0	100.0	92.0	8.0	8.0	0.0	-	-	0.0	0.0	

【参考】

平成 22 年国勢調査第 2 次試験調査調査票
(調査票甲)



(調査票乙)



(4) 調査票提出の周知方法別の状況

調査票提出の周知方法別にみると、記入不備の割合は、「新たな提出方法の強調周知型」(4.7%)と「多様な提出方法の並列周知型」(4.6%)で差異はみられない。

調査票提出の周知方法、世帯項目別記入不備率

(%)

	強調周知型									並列周知型									
	総数	正記入	記入不備						(別掲)市区町 訂正可	総数	正記入	記入不備						(別掲)市区町 訂正可	
			総数	記入漏れ	記入誤り	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外				総数	記入漏れ	記入誤り	ダブル マーク	右づめ 誤り	規定 コード 以外		
総数	100.0	95.3	4.7	2.8	1.4	0.1	0.1	0.4	5.3	100.0	95.4	4.6	2.6	1.6	0.1	0.1	0.2	4.8	
世帯員の数	100.0	89.9	10.1	1.1	6.8	-	0.4	1.8	11.3	100.0	89.8	10.2	0.8	8.1	-	0.3	1.0	10.8	
住居の種類	100.0	95.9	4.1	3.9	0.0	0.2	-	0.0	2.6	100.0	97.0	3.0	3.0	0.0	0.1	-	0.0	1.8	
住宅の建て方	100.0	96.8	3.2	3.1	0.0	0.1	-	0.0	3.7	100.0	96.7	3.3	3.2	0.0	0.1	-	0.0	3.0	
共同住宅	建物全体の階数	100.0	99.6	0.4	0.3	0.0	-	0.0	0.1	2.7	100.0	99.7	0.3	0.2	0.0	-	0.0	0.1	3.0
	住宅のある階数	100.0	98.8	1.2	1.1	0.0	-	0.0	0.0	3.7	100.0	99.3	0.7	0.7	0.0	-	0.0	0.0	3.3
住宅の床面積の合計	100.0	91.4	8.6	8.2	0.0	0.5	-	0.0	6.6	100.0	90.9	9.1	8.6	0.0	0.5	-	0.0	5.8	
別掲(電話番号)	100.0	86.4	13.6	13.6	0.0	-	-	0.0	0.0	100.0	85.2	14.8	14.8	0.0	-	-	0.0	0.0	

(5) 建物属性・世帯属性別の状況

建物属性別にみると、記入不備の割合は、住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯及び建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯が3.4%と最も低く、次いで住宅の建て方が「共同住宅」でオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯（4.5%）となっている。

また、世帯属性別にみると、記入不備の割合は、夫婦のみの世帯が2.6%と最も低く、次いで左記以外の世帯（4.5%）となっている。

建物属性、世帯項目別記入不備率 (%)

	住宅の建て方が「一戸建」の住宅に居住する世帯			建物1棟でいくつかの調査区を構成しているオートロックマンションに居住する世帯			住宅の建て方が「共同住宅」で左記のオートロックマンション以外の住宅に居住する世帯			左記以外の世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	96.6	3.4	100.0	96.6	3.4	100.0	95.5	4.5	100.0	83.8	16.2	
世帯員の数	100.0	89.2	10.8	100.0	93.1	6.9	100.0	92.3	7.7	100.0	79.7	20.3	
住居の種類	100.0	98.4	1.6	100.0	97.4	2.6	100.0	96.9	3.1	100.0	80.0	20.0	
建て方	100.0	100.0	0.0	100.0	96.3	3.7	100.0	100.0	0.0	100.0	68.4	31.6	
共同住宅	建物全体の階数	100.0	100.0	0.0	100.0	99.3	0.7	100.0	98.8	1.2	100.0	100.0	0.0
	住宅のある階数	100.0	100.0	0.0	100.0	98.4	1.6	100.0	96.7	3.3	100.0	100.0	0.0
住宅の床面積の合計	100.0	92.2	7.8	100.0	96.5	3.5	100.0	89.8	10.2	100.0	78.0	22.0	
別掲（電話番号）	100.0	88.8	11.2	100.0	90.8	9.2	100.0	82.2	17.8	100.0	67.0	33.0	

世帯属性、世帯項目別記入不備率 (%)

	ワンルームマンションなど単身者が居住する住宅の多い地域の単身世帯			左記の地域以外の単身世帯			夫婦のみの世帯			左記以外の世帯			（別掲）学校の学生寮・寄宿舎の世帯			
	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	総数	正記入	記入不備	
総数	100.0	93.1	6.9	100.0	93.8	6.2	100.0	97.4	2.6	100.0	95.5	4.5	100.0	86.7	13.3	
世帯員の数	100.0	90.3	9.7	100.0	88.5	11.5	100.0	95.7	4.3	100.0	88.2	11.8	100.0	63.6	36.4	
住居の種類	100.0	94.5	5.5	100.0	94.0	6.0	100.0	97.7	2.3	100.0	97.3	2.7	100.0	100.0	0.0	
建て方	100.0	93.5	6.5	100.0	94.0	6.0	100.0	97.9	2.1	100.0	97.9	2.1	100.0	100.0	0.0	
共同住宅	建物全体の階数	100.0	98.3	1.7	100.0	99.5	0.5	100.0	99.9	0.1	100.0	99.7	0.3	100.0	100.0	0.0
	住宅のある階数	100.0	96.4	3.6	100.0	98.8	1.2	100.0	99.6	0.4	100.0	99.3	0.7	100.0	100.0	0.0
住宅の床面積の合計	100.0	86.4	13.6	100.0	88.8	11.2	100.0	93.6	6.4	100.0	91.7	8.3	100.0	100.0	0.0	
別掲（電話番号）	100.0	78.9	21.1	100.0	80.4	19.6	100.0	88.5	11.5	100.0	87.7	12.3	100.0	81.8	18.2	

4 「5年前の住居の所在地」の記入状況

(1) 「5年前の住居の所在地」の区分の記入状況

国勢調査では、政令指定都市に居住する者の「区」間の移動を正確に把握するため、これまで大都市用と一般地域用の2種類の調査票を用いている。

第2次試験調査では、調査票の統合(経費の合理化)を図る観点から、【参考】に示す選択肢であっても、政令指定都市の「区」間の移動を正確に把握することができるかについて検証したところ、9市区町全体で90.5%、9市区町のうち横浜市、大阪市及び神戸市の3政令指定都市では89.8%が正確に記入されている。

「5年前の住居の所在地」の区分の照合状況別件数

正しい区分		総数	現在と同じ場所	同じ区・市町村内の他の場所	他の区・市町村	外国	無記入・不詳
世帯記入							
実数	総数	6,685	286	2,637	3,514	115	133
	現在と同じ場所	252	245	6	1	0	0
	同じ区・市町村内の他の場所	2,516	7	2,404	105	0	0
	他の区・市町村	3,221	1	54	3,166	0	0
	外国	114	0	0	0	114	0
	無記入・ダブルマーク	582	33	173	242	1	133
一致率(%)		-	85.7	91.2	90.1	99.1	-

全体では一致率90.5%

正しい区分		総数	現在と同じ場所	同じ区・市町村内の他の場所	他の区・市町村	外国	無記入・不詳
世帯記入							
実数	政令指定都市	2,292	89	757	1,337	57	52
	現在と同じ場所	84	82	1	1	0	0
	同じ区・市町村内の他の場所	796	0	716	80	0	0
	他の区・市町村	1,167	0	10	1,157	0	0
	外国	56	0	0	0	56	0
	無記入・ダブルマーク	189	7	30	99	1	52
一致率(%)		-	92.1	94.6	86.5	98.2	-

全体では一致率89.8%

【参考】

平成12年国勢調査調査票(大都市用)

7 5年前(平成7年10月1日)にはどこに住んでいましたか

・平成7年10月1日以後に生まれた人及び現在の場所に5年以上住んでいる人については記入する必要はありません

・他の区・市町村の場合は、その都道府県・市区町村名(13大都市の場合は区名まで)も書いてください

・13大都市とは、東京都区部と札幌・仙台・千葉・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・北九州・福岡の各市をいいます

現在と同じ場所 同じ区内の他の場所 他の区・市町村 外国

(所在地を左つめて記入)

都道府県 市郡支庁 区町村

「大都市用調査票」の選択肢
 「現在と同じ場所」、
「同じ区内の他の場所」、
 「他の区・市町村」、「外国」

「一般地域用調査票」の選択肢
 「現在と同じ場所」、
「同じ市町村内の他の場所」、
 「他の市区町村」、「外国」



平成22年国勢調査第2次試験調査調査票(調査票甲)

5年前(平成15年6月13日)にはどこに住んでいましたか

・平成15年6月13日以後に生まれた人については生まれた場所(その時点で母が住んでいた場所)を書いてください

・現在の場所に出生時から又は5年以上住んでいる人については記入する必要はありません

・同じ区・市町村内の他の場所又は他の区・市町村の場合はその都道府県・市区町村名(東京都区部と政令指定都市の場合は区名まで)も書いてください

現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他の区・市町村 外国

(所在地を左つめて記入)

都道府県 市郡支庁 区町村

(調査票乙)

5年前(平成15年6月13日)にはどこに住んでいましたか

・平成15年6月13日以後に生まれた人については生まれた場所(その時点で母が住んでいた場所)を書いてください

・現在の場所に出生時から又は5年以上住んでいる人については記入する必要はありません

・政令指定都市の場合は区名まで書いてください

現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他の区・市町村 外国

(所在地を左つめて記入)

都道府県 市区町村

(2) 文字認識による市区町村コードの一致状況

「5年前の住居の所在地」について、調査票に記入された文字をOCR機で読み取り、コンピュータで市区町村コードの符号付けを行った結果、正しく符号付けされた割合は84.1%、誤って符号付けされた割合は1.3%、符号付けができなかった割合は14.6%となっている。

「5年前の住居の所在地」の市区町村コード符号の一致状況別件数

	総数	市区町村コードの自動符号可			市区町村コードの符号不可
		総数	正しい符号	誤りの符号	
総数	5,735	4,898	4,825	73	837
構成比 (%)	100.0	85.4	84.1	1.3	14.6

これを調査票の種類別にみると、正しく符号付けされた割合は、調査票甲(84.4%)と調査票乙(83.8%)で差異はなかった。

調査票の種類、「5年前の住居の所在地」の市区町村コード符号の一致状況別件数

		総数	市区町村コードの自動符号可			市区町村コードの符号不可
			総数	正しい符号	誤りの符号	
実数	調査票甲	2,996	2,573	2,530	43	423
	調査票乙	2,739	2,325	2,295	30	414
構成比 (%)	調査票甲	100.0	85.9	84.4	1.4	14.1
	調査票乙	100.0	84.9	83.8	1.1	15.1

5 「従業地又は通学地」の記入状況

(1) 「従業地又は通学地」の区分の記入状況

「従業地又は通学地」についても、「5年前の住居の所在地」と同様に、政令指定都市の「区」間の移動を正確に把握することができるかについて検証したところ、9市区町全体で85.3%、9市区町のうち横浜市、大阪市及び神戸市の3政令指定都市では84.8%が正確に記入されている。

「従業地又は通学地」の区分の照合状況別件数

正しい区分	総数	自宅	同じ区・市町村	他の区・市町村	無記入・不詳
世帯記入					
総数	15,914	1,245	8,620	5,255	794
自宅	1,281	1,237	32	9	3
同じ区・市町村	7,522	0	7,305	215	2
他の区・市町村	4,466	1	107	4,355	3
無記入・ダブルマーク	2,645	7	1,176	676	786
一致率 (%)	-	99.4	84.7	82.9	-

全体では一致率 85.3%

正しい区分	総数	自宅	同じ区・市町村	他の区・市町村	無記入・不詳
世帯記入					
政令指定都市	4,721	235	1,658	2,591	237
自宅	247	234	6	4	3
同じ区・市町村	1,612	0	1,446	165	1
他の区・市町村	2,143	0	18	2,122	3
無記入・ダブルマーク	719	1	188	300	230
一致率 (%)	-	99.6	87.2	81.9	-

全体では一致率 84.8%

【参考】

平成 17 年国勢調査調査票（大都市用）

11 従業地又は通学地

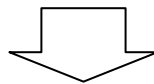
- ・仕事も通学もしている人は 仕事をしている場所について記入してください
- ・他の区・市町村の場合は その都道府県・市区町村名(13大都市の場合は区名まで)も書いてください
- ・13大都市とは 東京都区部と札幌・仙台・千葉・横浜・川崎・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・北九州・福岡の各市をいいます

自宅(住みかき) 13欄へ
同じ区 12欄へ (所在地を記入)
他の区・市町村

都道府県
市郡支庁
区町村

「大都市用調査票」の選択肢
「自宅」、「同じ区」、
「他の区・市町村」

「一般地域用調査票」の選択肢
「自宅」、「同じ市町村」、
「他の市区町村」



平成 22 年国勢調査第 2 次試験調査調査票（調査票甲）

（調査票乙）

10 従業地又は通学地

- ・仕事も通学もしている人は 仕事をしている場所について記入してください
- ・同じ区・市町村 又は他の区・市町村の場合は その都道府県・市区町村名(東京都区部と政令指定都市の場合は区名まで)も書いてください

自宅(住みかき) 12欄へ
同じ区・市町村 12欄へ (所在地を左づめで記入)
他の区・市町村

都道府県
市区町村

政令指定都市の場合は区名まで書いてください

(2) 漢字認識による市区町村コードの一致状況

「従業地又は通学地」の所在地についても、「5年前の住居の所在地」と同様に、調査票の記入内容を基に、コンピュータで市区町村コードの符号付けを行った結果、正しく符号付けされた割合は80.7%、誤って符号付けされた割合は1.2%、符号付けができなかった割合は18.1%となっている。

「従業地又は通学地」の市区町村コード符号の一致状況別件数

	総数	市区町村コードの自動符号可			市区町村コードの符号不可
		総数	正しい符号	誤りの符号	
総数	11,985	9,817	9,671	146	2,168
構成比(%)	100.0	81.9	80.7	1.2	18.1

これを調査票の種類別にみると、正しく符号付けされた割合は、調査票乙(79.3%)に比べ調査票甲(82.1%)のほうが若干高くなっている。

調査票の種類、「従業地又は通学地」の市区町村コード符号の一致状況別件数

		総数	市区町村コードの自動符号可			市区町村コードの符号不可
			総数	正しい符号	誤りの符号	
実数	調査票甲	6,101	5,087	5,007	80	1,014
	調査票乙	5,884	4,730	4,664	66	1,154
構成比(%)	調査票甲	100.0	83.4	82.1	1.3	16.6
	調査票乙	100.0	80.4	79.3	1.1	19.6

6 民間業者による調査票の入力状況

(1) 世帯員項目の入力状況

世帯員項目について、民間業者において調査票を入力した内容と、統計センターにおいて入力した内容を照合したところ、両者が一致した割合は95.9%、不一致の割合は4.1%となっている。また、不一致の大半は、統計センターの入力データのほうが正しい判定となっている。

なお、「在学、卒業等教育の状況」の一致率が、他の調査項目に比べ低い。これは、民間業者における調査票の入力上の問題があったことによる。

世帯員項目、照合状況別件数

	総数	民間業者入力データとセンター入力データの符号が一致	民間業者入力データとセンター入力データの符号が不一致					
			総数	センター入力データが正	民間業者入力データが正	民間業者入力データ、センター入力データともに誤		
実数	総数	228,825	219,412	9,413	9,151	139	123	
	男女の別	15,255	15,216	39	30	9	0	
	世帯主との続き柄	15,255	15,061	194	184	6	4	
	出生の年月	元号・西暦	15,255	15,145	110	96	9	5
		年	15,255	14,624	631	596	10	25
		月	15,255	14,789	466	435	3	28
	配偶の関係	15,255	15,220	35	29	6	0	
	国籍(区分)	15,255	15,231	24	15	8	1	
	現在の住居における居住期間	15,255	15,160	95	80	14	1	
	5年前の住居の所在地(区分)	15,255	15,209	46	34	10	2	
	在学、卒業等教育の状況	在学か否かの別	15,255	12,956	2,299	2,275	7	17
		学校区分	15,255	11,835	3,420	3,391	20	9
	就業状態	15,255	14,717	538	525	8	5	
	従業地又は通学地(区分)	15,255	15,189	66	50	16	0	
	利用交通手段	15,255	15,211	44	18	4	22	
	勤めか自営かの別	15,255	13,849	1,406	1,393	9	4	
構成比(%)	総数	100.0	95.9	4.1	4.0	0.1	0.1	
	男女の別	100.0	99.7	0.3	0.2	0.1	0.0	
	世帯主との続き柄	100.0	98.7	1.3	1.2	0.0	0.0	
	出生の年月	元号・西暦	100.0	99.3	0.7	0.6	0.1	0.0
		年	100.0	95.9	4.1	3.9	0.1	0.2
		月	100.0	96.9	3.1	2.9	0.0	0.2
	配偶の関係	100.0	99.8	0.2	0.2	0.0	0.0	
	国籍(区分)	100.0	99.8	0.2	0.1	0.1	0.0	
	現在の住居における居住期間	100.0	99.4	0.6	0.5	0.1	0.0	
	5年前の住居の所在地(区分)	100.0	99.7	0.3	0.2	0.1	0.0	
	在学、卒業等教育の状況	在学か否かの別	100.0	84.9	15.1	14.9	0.0	0.1
		学校区分	100.0	77.6	22.4	22.2	0.1	0.1
	就業状態	100.0	96.5	3.5	3.4	0.1	0.0	
	従業地又は通学地(区分)	100.0	99.6	0.4	0.3	0.1	0.0	
	利用交通手段	100.0	99.7	0.3	0.1	0.0	0.1	
勤めか自営かの別	100.0	90.8	9.2	9.1	0.1	0.0		

(2) 世帯項目の入力状況

世帯項目について、世帯員項目と同様に、民間業者において調査票を入力した内容と、統計センターにおいて入力した内容を照合したところ、両者が一致した割合は97.0%、不一致の割合は3.0%となっている。また、不一致の大半は、統計センターの入力データのほうが正しい判定となっている。

世帯項目、照合状況別件数

	総数	民間業者入力データとセンター入力データの符号が一致	民間業者入力データとセンター入力データの符号が不一致					
			総数	センター入力データが正	民間業者入力データが正	民間業者入力データ、センター入力データともに誤		
実数	総数	49,680	48,200	1,480	1,378	58	44	
	世帯員の数	総数	6,210	5,957	253	233	11	9
		男	6,210	5,985	225	208	11	6
		女	6,210	6,000	210	188	11	11
	住居の種類	6,210	6,055	155	145	7	3	
	住宅の建て方	6,210	6,056	154	145	8	1	
	うち 共同住宅	建物全体の階数	6,210	6,067	143	139	1	3
		住宅のある階数	6,210	6,076	134	129	2	3
	住宅の床面積の合計	6,210	6,004	206	191	7	8	
	構成比(%)	総数	100.0	97.0	3.0	2.8	0.1	0.1
世帯員の数		総数	100.0	95.9	4.1	3.8	0.2	0.1
		男	100.0	96.4	3.6	3.3	0.2	0.1
		女	100.0	96.6	3.4	3.0	0.2	0.2
住居の種類		100.0	97.5	2.5	2.3	0.1	0.0	
住宅の建て方		100.0	97.5	2.5	2.3	0.1	0.0	
うち 共同住宅		建物全体の階数	100.0	97.7	2.3	2.2	0.0	0.0
		住宅のある階数	100.0	97.8	2.2	2.1	0.0	0.0
住宅の床面積の合計	100.0	96.7	3.3	3.1	0.1	0.1		

第3 世帯アンケートの集計結果

世帯アンケートは、13,816 の対象世帯に依頼し、6,236 世帯から回答（回収率 45.1%）があった。世帯アンケート結果数値を分析する場合、回収率や回答者の属性等に留意する必要がある。

1 回答者について

世帯アンケートの回答者数は6,236人で、調査票の提出方法別にみると、「郵送で提出・市区町村役場に直接提出」が最も多く4,057人（65.1%）、次いで「調査員に提出」が1,399人（22.4%）となっている。

また、年齢階級別にみると、「60歳代」が最も多く1,262人（20.2%）、次いで「70歳以上」が1,228人（19.7%）、「50歳代」が1,197人（19.2%）となっている。

男女の別、調査票の提出方法、年齢階級別回答者数

		総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無記入・不詳
総数 (注)	総数 (構成比)	6,236 100.0	131 2.1	398 6.4	864 13.9	983 15.8	1,197 19.2	1,262 20.2	1,228 19.7	173 2.8
	インターネットで回答 (構成比)	181 2.9	3 0.0	19 0.3	50 0.8	63 1.0	30 0.5	12 0.2	3 0.0	1 0.0
	調査員に提出 (構成比)	1,399 22.4	29 0.5	88 1.4	145 2.3	215 3.4	281 4.5	306 4.9	322 5.2	13 0.2
	郵送で提出・市区町村役場に直接提出 (構成比)	4,057 65.1	78 1.3	257 4.1	639 10.2	668 10.7	815 13.1	834 13.4	733 11.8	33 0.5
	その他の提出方法 (構成比)	33 0.5	9 0.1	15 0.2	3 0.0	0 0.0	2 0.0	1 0.0	2 0.0	1 0.0
	無記入・不詳 (構成比)	566 9.1	12 0.2	19 0.3	27 0.4	37 0.6	69 1.1	109 1.7	168 2.7	125 2.0
	男	総数 (構成比)	2,608 100.0	43 1.6	149 5.7	285 10.9	346 13.3	496 19.0	635 24.3	635 24.3
インターネットで回答 (構成比)	125 4.8	2 0.1	13 0.5	32 1.2	41 1.6	22 0.8	11 0.4	3 0.1	1 0.0	
調査員に提出 (構成比)	625 24.0	22 0.8	40 1.5	42 1.6	78 3.0	123 4.7	147 5.6	169 6.5	4 0.2	
郵送で提出・市区町村役場に直接提出 (構成比)	1,674 64.2	17 0.7	86 3.3	204 7.8	217 8.3	327 12.5	429 16.4	384 14.7	10 0.4	
その他の提出方法 (構成比)	6 0.2	0 0.0	2 0.1	0 0.0	0 0.0	2 0.1	1 0.0	1 0.0	0 0.0	
無記入・不詳 (構成比)	178 6.8	2 0.1	8 0.3	7 0.3	10 0.4	22 0.8	47 1.8	78 3.0	4 0.2	
女	総数 (構成比)	3,368 100.0	88 2.6	248 7.4	575 17.1	625 18.6	685 20.3	605 18.0	522 15.5	20 0.6
インターネットで回答 (構成比)	55 1.6	1 0.0	6 0.2	17 0.5	22 0.7	8 0.2	1 0.0	0 0.0	0 0.0	
調査員に提出 (構成比)	750 22.3	7 0.2	48 1.4	103 3.1	136 4.0	154 4.6	155 4.6	143 4.2	4 0.1	
郵送で提出・市区町村役場に直接提出 (構成比)	2,298 68.2	61 1.8	170 5.0	432 12.8	441 13.1	479 14.2	390 11.6	311 9.2	14 0.4	
その他の提出方法 (構成比)	27 0.8	9 0.3	13 0.4	3 0.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.0	1 0.0	
無記入・不詳 (構成比)	238 7.1	10 0.3	11 0.3	20 0.6	26 0.8	44 1.3	59 1.8	67 2.0	1 0.0	

(注)男女の別の別の不詳を含む

【「その他の提出方法」の具体的な内容】

- 寮長に提出
- 大学（学生課）に提出
- 調査員の質問に答える形で調査員が記入

2 「調査票の記入のしかた」について

(1) 「調査票の記入のしかた」を読みましたか

「調査票の記入のしかた」を読んだかどうかについては、調査票甲、乙ともに「読んだ」の割合が高くなっている。

これを年齢階級別にみると、調査票甲、乙ともに「20歳代」以下で「読まなかった」の割合が若干高くなっている。世帯員の数別にみると、調査票甲、乙ともに「2人以上」に比べて「1人」のほうが「読まなかった」の割合が若干高くなっている。

次に、調査票の提出方法別にみると、調査票甲、乙ともに、「インターネットで回答」で「読まなかった」の割合が若干高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法、調査票の種類別「調査票の記入のしかた」を読んだかどうかについて回答者数 (%)

		調査票甲				調査票乙			
		総数 (実数)	読んだ	読まな かった	無記入 ・不詳	総数 (実数)	読んだ	読まな かった	無記入 ・不詳
総数		3,132	81.1	15.4	3.5	3,104	78.9	17.1	3.9
男女の別	男	1,339	82.0	15.4	2.6	1,269	79.4	17.3	3.4
	女	1,665	80.7	15.7	3.7	1,703	79.1	17.4	3.5
	無記入・不詳	128	76.6	12.5	10.9	132	72.7	12.1	15.2
年齢階級	20歳未満	57	61.4	38.6	0.0	74	73.0	27.0	0.0
	20歳代	178	75.8	23.6	0.6	220	77.3	22.3	0.5
	30歳代	488	81.8	17.6	0.6	376	80.9	17.0	2.1
	40歳代	506	83.0	14.8	2.2	477	78.6	19.1	2.3
	50歳代	579	80.3	17.1	2.6	618	80.7	17.5	1.8
	60歳代	636	86.2	10.1	3.8	626	81.6	15.3	3.0
	70歳以上	610	77.0	14.3	8.7	618	75.9	14.9	9.2
	無記入・不詳	78	85.9	10.3	3.8	95	71.6	12.6	15.8
世帯員の数	1人	740	76.1	19.9	4.1	786	73.3	22.1	4.6
	2人以上	2,293	82.7	14.3	3.0	2,205	80.9	15.8	3.3
	無記入・不詳	99	80.8	8.1	11.1	113	79.6	8.8	11.5
住居の形態	農林漁家	63	87.3	9.5	3.2	76	81.6	7.9	10.5
	商店	39	79.5	10.3	10.3	33	63.6	24.2	12.1
	一戸建住宅	1,579	82.3	13.8	3.9	1,552	81.1	15.1	3.7
	オートロックマンション	512	81.3	16.4	2.3	477	77.6	20.3	2.1
	オートロック以外のアパート・マンション	624	79.5	18.3	2.2	585	78.3	19.3	2.4
	その他	94	75.5	23.4	1.1	141	73.8	23.4	2.8
	無記入・不詳	221	76.9	15.8	7.2	240	73.3	16.7	10.0
調査票の提出方法	インターネットで回答	94	78.7	19.1	2.1	87	70.1	27.6	2.3
	調査員に提出	746	82.8	15.0	2.1	653	82.1	14.7	3.2
	郵送で提出・市区町村役場に直接提出	1,997	82.9	14.6	2.6	2,060	80.7	16.6	2.7
	その他の提出方法	10	40.0	60.0	0.0	23	65.2	30.4	4.3
	無記入・不詳	285	66.0	19.6	14.4	281	62.3	22.4	15.3

(2) 「調査票の記入のしかた」は参考になったか

「調査票の記入のしかた」を読んだと回答した人について、調査票甲、乙ともに「参考になった」の割合が80%以上と高くなっており、「参考にならなかった」の割合は1%台と低くなっている。各属性別にみてもほぼ同様の傾向となっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法、調査票の種類別「調査票の記入のしかた」は参考になったかどうかについて回答者数 (%)

	調査票甲					調査票乙					
	「調査票の記入のしかた」を読んだ(実数)	参考になった	参考にならなかった	どちらともいえない	無記入・不詳	「調査票の記入のしかた」を読んだ(実数)	参考になった	参考にならなかった	どちらともいえない	無記入・不詳	
総数	2,539	84.3	1.5	11.3	2.9	2,450	86.4	1.1	9.8	2.7	
男女の別	男	1,098	84.0	1.7	11.3	3.0	1,007	87.1	1.3	9.4	2.2
	女	1,343	84.9	1.2	11.2	2.7	1,347	86.3	1.0	9.8	2.8
	無記入・不詳	98	80.6	3.1	11.2	5.1	96	80.2	0.0	12.5	7.3
年齢階級	20歳未満	35	88.6	2.9	8.6	0.0	54	88.9	5.6	5.6	0.0
	20歳代	135	83.7	4.4	11.9	0.0	170	84.1	2.4	11.8	1.8
	30歳代	399	85.2	1.5	11.3	2.0	304	88.2	1.3	9.9	0.7
	40歳代	420	82.9	0.7	14.3	2.1	375	84.8	1.1	11.7	2.4
	50歳代	465	84.7	1.3	10.1	3.9	499	87.2	1.0	9.2	2.6
	60歳代	548	85.4	1.1	10.4	3.1	511	87.1	0.2	10.0	2.7
	70歳以上	470	84.3	1.9	9.6	4.3	469	86.4	1.3	7.7	4.7
	無記入・不詳	67	76.1	1.5	19.4	3.0	68	80.9	0.0	13.2	5.9
世帯員の数	1人	563	84.4	1.4	10.7	3.6	576	85.6	2.3	9.4	2.8
	2人以上	1,896	84.4	1.5	11.4	2.7	1,784	86.8	0.8	9.9	2.5
	無記入・不詳	80	81.3	2.5	12.5	3.8	90	83.3	0.0	8.9	7.8
住居の形態	農林漁家	55	90.9	0.0	1.8	7.3	62	87.1	0.0	11.3	1.6
	商店	31	90.3	3.2	3.2	3.2	21	85.7	0.0	14.3	0.0
	一戸建住宅	1,300	84.6	1.4	10.7	3.3	1,259	87.4	0.9	9.1	2.6
	オートロックマンション	416	84.9	1.0	11.5	2.6	370	88.1	1.1	8.4	2.4
	オートロック以外のアパート・マンション	496	83.7	2.4	12.1	1.8	458	84.5	2.4	10.5	2.6
	その他	71	84.5	1.4	11.3	2.8	104	86.5	1.0	10.6	1.9
無記入・不詳	170	79.4	1.2	17.1	2.4	176	80.7	0.0	13.6	5.7	
調査票の提出方法	インターネットで回答	74	78.4	2.7	10.8	8.1	61	90.2	1.6	6.6	1.6
	調査員に提出	618	84.1	1.3	10.7	3.9	536	86.8	0.9	9.7	2.6
	郵送で提出・市区町村役場に直接提出	1,655	85.4	1.5	10.8	2.2	1,663	86.8	1.1	9.3	2.8
	その他の提出方法	4	50.0	0.0	50.0	0.0	15	86.7	0.0	13.3	0.0
	無記入・不詳	188	78.2	1.6	16.5	3.7	175	80.6	1.7	14.9	2.9

【「参考にならなかった」の具体的な理由】

- 説明がわかりづらい(いかにも学校用語のような記入例だったので、読んでもよく分からない。)
- 細かすぎる(分からないことがどこに書いてあるかを見つけられず、目が疲れた。説明が多すぎる。)
- 文字が小さく、読みにくかった
- 記入例を増やしてほしい
- 大事なところに色をつけたほうが分かりやすい

(3) 「調査票の記入のしかた」を読まなかった理由

「調査票の記入のしかた」を読まなかったと回答した人のその理由について、調査票甲、乙ともに、「読まなくても調査票を記入することができた」の割合が約70%と最も高くなっており、次いで「ページ数が多くて読む気にならなかった」の割合が約20%、「文字が小さくて読む気にならなかった」の割合が約12%となっている。

これを年齢階級別にみると、調査票甲、乙ともに高齢者で「文字が小さくて読む気にならなかった」の割合が若干高くなっている。

また、調査票の提出方法別にみると、調査票甲、乙ともに「インターネットで回答」で「読まなくても調査票を記入することができた」の割合が80%以上と高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法、調査票の種類別「調査票の記入のしかた」を読まなかった理由について回答者数（複数回答）

	調査票甲						調査票乙					
	「調査票の記入のしかた」を読まなかった(実数)	読まなくても調査票を記入することができた	ページ数が多くて読む気にならなかった	文字が小さくて読む気にならなかった	その他	無記入・不詳	「調査票の記入のしかた」を読まなかった(実数)	読まなくても調査票を記入することができた	ページ数が多くて読む気にならなかった	文字が小さくて読む気にならなかった	その他	無記入・不詳
総数	483	71.4	18.4	11.6	8.9	1.7	532	70.3	19.7	11.5	11.1	3.6
男女の別												
男	206	69.9	17.5	11.7	8.3	2.4	219	73.1	21.5	8.7	6.4	2.7
女	261	72.0	19.5	11.9	9.6	1.1	297	69.4	17.8	13.5	13.8	4.0
無記入・不詳	16	81.3	12.5	6.3	6.3	0.0	16	50.0	31.3	12.5	25.0	6.3
年齢階級												
20歳未満	22	72.7	27.3	4.5	9.1	0.0	20	65.0	20.0	15.0	20.0	10.0
20歳代	42	71.4	28.6	9.5	2.4	0.0	49	69.4	18.4	4.1	12.2	2.0
30歳代	86	72.1	24.4	4.7	12.8	1.2	64	76.6	17.2	7.8	7.8	3.1
40歳代	75	74.7	18.7	8.0	4.0	4.0	91	75.8	23.1	3.3	5.5	3.3
50歳代	99	78.8	14.1	11.1	6.1	2.0	108	86.1	16.7	10.2	6.5	2.8
60歳代	64	62.5	15.6	21.9	12.5	0.0	96	69.8	15.6	10.4	13.5	3.1
70歳以上	87	65.5	11.5	18.4	12.6	2.3	92	46.7	25.0	28.3	18.5	3.3
無記入・不詳	8	75.0	25.0	0.0	12.5	0.0	12	50.0	33.3	8.3	16.7	16.7
世帯員の数												
1人	147	66.0	18.4	12.9	10.2	0.7	174	67.2	17.8	14.4	12.6	4.0
2人以上	328	73.8	18.6	11.3	8.2	2.1	348	73.0	20.1	10.1	10.1	2.9
無記入・不詳	8	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0	10	30.0	40.0	10.0	20.0	20.0
住居の形態												
農林漁家	6	83.3	50.0	0.0	0.0	0.0	6	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
商店	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	8	87.5	12.5	12.5	0.0	0.0
一戸建住宅	218	72.0	12.8	11.9	10.6	1.8	235	71.1	19.6	13.6	9.4	3.0
オートロックマンション	84	75.0	22.6	10.7	7.1	1.2	97	77.3	20.6	6.2	9.3	2.1
オートロック以外のアパート・マンション	114	67.5	28.1	12.3	6.1	1.8	113	66.4	21.2	11.5	12.4	4.4
その他	22	54.5	18.2	13.6	18.2	4.5	33	63.6	6.1	18.2	15.2	9.1
無記入・不詳	35	82.9	5.7	8.6	8.6	0.0	40	62.5	25.0	7.5	22.5	5.0
調査票の提出方法												
インターネットで回答	18	88.9	5.6	0.0	11.1	0.0	24	83.3	12.5	0.0	4.2	0.0
調査員に提出	112	68.8	15.2	12.5	8.9	2.7	96	68.8	22.9	14.6	11.5	0.0
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	291	72.9	20.3	12.0	8.2	1.4	342	72.8	19.3	10.8	8.2	5.3
その他の提出方法	6	66.7	33.3	0.0	16.7	0.0	7	71.4	0.0	14.3	42.9	0.0
無記入・不詳	56	64.3	17.9	12.5	10.7	1.8	63	54.0	22.2	14.3	25.4	1.6

【「調査票の記入のしかた」を読まなかった理由の「その他」の具体的な理由】

- 「調査票の記入のしかた」がなかった（受け取ってない。調査票を記入する際に手元になかった。）
- 調査員や家族に教えてもらいながら記入した
- 読むのが手間、面倒
- 年配の人にも内容が分かりやすいように、選択肢の進め方なども書いたほうがよいと思う

3 「勤めか自営かの別」欄の記入について

(1) 「勤めか自営かの別」欄の選択肢のどれに該当するかわかったか

「勤めか自営かの別」欄の記入について、調査票甲、乙ともに選択肢のどれに該当するか「わかった」の割合が90%台と高くなっており、これを各属性別についてみると、調査票甲、乙ともに「70歳以上」で「わかった」の割合が若干低くなっていること以外は、ほぼ同様の傾向となっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法、調査票の種類別「勤めか自営かの別」欄の選択肢のどれに該当するかわかったかどうかについて回答者数（「勤めか自営かの別」欄を記入した者）（%）

	調査票甲				調査票乙			
	総数 (実数)	選択肢の どれに該 当するか わかった	選択肢の どれに該 当するか わかりに くかった	無記入 ・不詳	総数 (実数)	選択肢の どれに該 当するか わかった	選択肢の どれに該 当するか わかりに くかった	無記入 ・不詳
総数	2,129	92.2	5.2	2.5	2,035	92.3	6.0	1.7
男女の別								
男	915	92.1	5.2	2.6	865	92.0	5.9	2.1
女	1,141	93.1	5.0	1.9	1,102	93.4	5.4	1.3
無記入・不詳	73	80.8	8.2	11.0	68	77.9	17.6	4.4
年齢階級								
20歳未満	13	92.3	0.0	7.7	20	85.0	15.0	0.0
20歳代	141	91.5	7.1	1.4	159	96.2	3.1	0.6
30歳代	421	96.7	2.4	1.0	310	95.2	4.5	0.3
40歳代	425	93.6	5.4	0.9	385	96.9	2.3	0.8
50歳代	465	92.9	5.6	1.5	496	94.6	4.6	0.8
60歳代	405	92.8	3.7	3.5	379	89.2	9.0	1.8
70歳以上	210	80.5	10.5	9.0	230	82.2	10.9	7.0
無記入・不詳	49	83.7	10.2	6.1	56	78.6	16.1	5.4
世帯員の数								
1人	431	91.6	4.6	3.7	435	92.9	5.1	2.1
2人以上	1,641	92.7	5.2	2.1	1,534	92.6	5.9	1.4
無記入・不詳	57	84.2	8.8	7.0	66	80.3	13.6	6.1
住居の形態								
農林漁家	48	91.7	8.3	0.0	54	92.6	5.6	1.9
商店	30	86.7	6.7	6.7	25	92.0	4.0	4.0
一戸建住宅	1,000	92.0	4.9	3.1	979	91.6	6.2	2.1
オートロックマンション	389	93.8	5.1	1.0	327	95.1	4.0	0.9
オートロック以外のアパート・マンション	477	93.7	4.6	1.7	435	94.5	5.3	0.2
その他	47	83.0	10.6	6.4	74	87.8	8.1	4.1
無記入・不詳	138	89.1	6.5	4.3	141	85.8	10.6	3.5
調査票の提出方法								
インターネットで回答	81	90.1	7.4	2.5	68	97.1	2.9	0.0
調査員に提出	493	92.1	4.9	3.0	438	91.1	7.1	1.8
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	1,392	93.2	4.9	1.9	1,375	93.5	5.2	1.4
その他の提出方法	6	83.3	0.0	16.7	10	100.0	0.0	0.0
無記入・不詳	157	86.0	8.3	5.7	144	81.9	12.5	5.6

【「わかりにくかった」と回答した者の仕事の内容や勤め先での役職など】

- 自営業主であるが、長男が代わりに仕事をしている
- 有限会社の代表者で雇人なし
- 自営業主で家族従業者がいる場合、「雇人あり」か「雇人なし」か迷う
- 個人で現場ごとに雇われている
- 知人と2人で地場産品を製造、販売（不定期）している
- 派遣社員かアルバイトかわからない
- アウトソーシングで、勤務先の会社名と雇用されている会社の名前が違い、勤務先限定の契約社員なので、「派遣社員」であるかどうか迷う
- 契約社員や準社員がパートに入るかどうか迷う
- 会社に勤めていながら農業を行っているなど、複数の仕事をしている
- シルバー人材センターからの仕事の紹介
- 2年契約で私立高校の常勤講師
- 講演や研修会に参加して謝金を得た
- 生活費が支給される長期ボランティア

- 正社員として勤めているが、派遣のように4、5年で別の仕事場にかわる
- 任意障害者団体に所属し、手話通訳、手話講師などをしている
- 配偶者が代表取締役である会社で手伝いをしている
- 海上自衛隊護衛艦の補給科。自衛官（陸、海、空）の場合、「役職」は階級を指すのか、配置を指すのか
- 社会福祉協議会の支部長
- フリーでインストラクターをしている
- 非常勤職員
- 60～65才で、高齢者雇用安定法による嘱託で働いている
- 雇われることなくピアノ等を教えている場合は、内職になるのか
- 職業訓練校に通っている

(2) わかりにくい用語があったか

わかりにくい用語については、調査票甲、乙ともに「なかった」の割合が81.5%と高くなっており、これを各属性別についてみると、おおむね年齢階級が上がるにつれて「あった」の割合が高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法・調査票の種類別「勤めか自営かの別」欄にわかりにくい用語があったかどうかについて回答者数（「勤めか自営かの別」欄を記入した者）（%）

	調査票甲				調査票乙			
	総数 (実数)	わかりにくい用語が なかった	わかりにくい用語が あった	無記入 ・不詳	総数 (実数)	わかりにくい用語が なかった	わかりにくい用語が あった	無記入 ・不詳
総数	2,129	81.5	6.3	12.2	2,035	81.5	5.7	12.7
男女の別								
男	915	80.5	7.7	11.8	865	79.0	8.0	13.1
女	1,141	82.8	5.4	11.7	1,102	84.2	3.7	12.1
無記入・不詳	73	72.6	4.1	23.3	68	70.6	10.3	19.1
年齢階級								
20歳未満	13	84.6	0.0	15.4	20	95.0	5.0	0.0
20歳代	141	90.8	4.3	5.0	159	89.9	4.4	5.7
30歳代	421	89.1	5.5	5.5	310	93.5	2.9	3.5
40歳代	425	84.2	5.4	10.4	385	87.3	2.9	9.9
50歳代	465	76.6	6.0	17.4	496	78.8	5.6	15.5
60歳代	405	77.5	8.1	14.3	379	72.8	9.0	18.2
70歳以上	210	73.3	9.0	17.6	230	70.9	9.6	19.6
無記入・不詳	49	79.6	6.1	14.3	56	73.2	8.9	17.9
世帯員の数								
1人	431	82.4	5.6	12.1	435	83.4	6.2	10.3
2人以上	1,641	81.5	6.5	12.0	1,534	81.4	5.4	13.2
無記入・不詳	57	75.4	7.0	17.5	66	72.7	10.6	16.7
住居の形態								
農林漁家	48	79.2	8.3	12.5	54	72.2	5.6	22.2
商店	30	80.0	13.3	6.7	25	68.0	8.0	24.0
一戸建住宅	1,000	79.5	6.7	13.8	979	79.8	5.7	14.5
オートロックマンション	389	85.6	4.9	9.5	327	86.2	4.9	8.9
オートロック以外のアパート・マンション	477	84.3	5.9	9.9	435	85.5	6.2	8.3
その他	47	76.6	8.5	14.9	74	85.1	4.1	10.8
無記入・不詳	138	77.5	6.5	15.9	141	74.5	7.1	18.4
調査票の提出方法								
インターネットで回答	81	87.7	6.2	6.2	68	83.8	4.4	11.8
調査員に提出	493	82.4	5.7	12.0	438	78.3	5.9	15.8
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	1,392	81.6	6.0	12.4	1,375	83.6	5.1	11.3
その他の提出方法	6	83.3	0.0	16.7	10	100.0	0.0	0.0
無記入・不詳	157	74.5	11.5	14.0	144	68.8	12.5	18.8

(3) わかりにくい用語

わかりにくい用語が「あった」と回答した人について、「わかりにくい用語」についてみると、「労働者派遣事業所の派遣社員」の割合が37.3%と比較的高くなっており、調査票の種類別にみると、その割合は、調査票甲(31.1%)に比べ、調査票乙(44.4%)のほうが高くなっている。次に割合の高い用語としては、調査票甲では「パート・アルバイト・その他」(29.6%)となっているが、調査票乙では「正規の職員・従業員」(25.6%)となっている。

調査票の種類・男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「勤めか自営かの別」欄のわかりにくい用語について回答者数(「勤めか自営かの別」欄を記入した者)(複数回答) (%)

	わかりにくい用語があった (実数)	わかりにくい用語				
		正規の職員・従業員	労働者派遣事業所の派遣社員	パート・アルバイト・その他	左記以外	無記入・不詳
総数	252	26.6	37.3	25.4	15.9	15.9
調査票の種類						
調査票甲	135	27.4	31.1	29.6	16.3	15.6
調査票乙	117	25.6	44.4	20.5	15.4	16.2
男女の別						
男	139	25.2	41.0	26.6	17.3	15.1
女	103	28.2	35.0	23.3	13.6	15.5
無記入・不詳	10	30.0	10.0	30.0	20.0	30.0
年齢階級						
20歳未満	1	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0
20歳代	13	53.8	53.8	0.0	7.7	15.4
30歳代	32	37.5	50.0	3.1	15.6	12.5
40歳代	34	26.5	47.1	23.5	20.6	5.9
50歳代	56	33.9	32.1	30.4	16.1	14.3
60歳代	67	16.4	31.3	38.8	13.4	11.9
70歳以上	41	14.6	34.1	26.8	19.5	26.8
無記入・不詳	8	25.0	12.5	0.0	12.5	62.5
世帯員						
1人	51	23.5	47.1	23.5	7.8	11.8
2人以上	190	27.9	36.3	25.8	17.9	15.8
無記入・不詳	11	18.2	9.1	27.3	18.2	36.4
住居の形態						
農林漁家	7	14.3	14.3	28.6	28.6	42.9
商店	6	16.7	33.3	0.0	33.3	16.7
一戸建住宅	123	25.2	33.3	28.5	13.8	17.9
オートロックマンション	35	31.4	45.7	22.9	17.1	8.6
オートロック以外のアパート・マンション	55	32.7	49.1	21.8	12.7	9.1
その他	7	28.6	28.6	42.9	42.9	0.0
無記入・不詳	19	15.8	26.3	21.1	15.8	31.6
調査票の提出方法						
インターネットで回答	8	25.0	87.5	0.0	25.0	0.0
調査員に提出	54	20.4	38.9	31.5	13.0	20.4
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	154	29.2	38.3	24.7	18.2	10.4
その他の提出方法	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入・不詳	36	25.0	19.4	25.0	8.3	36.1

【わかりにくい用語の「左記以外」の具体的な内容】

- 労働者派遣法
- 「労働者派遣事業所の派遣社員」と「パート・アルバイト・その他」の違いがわかりにくい
- 家族従業者
- 嘱託

【「記入に当たってお気づきの点はありませんか」の具体的な内容】

- 質問の意味がわからない。何が目的かわからない
- 文字が小さく、読みにくかった
- 一般的に使用している言葉で記入してほしい
- 選択肢と選択肢の間が狭く、読みにくかった
- 「調査票の記入のしかた」に具体例をもっと書いてほしい
- 「調査票の記入のしかた」の説明がわかりやすかった

4 国勢調査に関する認知度について

(1) 認知度及び広報媒体について

国勢調査に関する情報について、「知らない」と回答した割合は、「調査票を記入して提出しなかった場合、法律に罰則が定められていること」(86.7%)、「国勢調査は世界各国で実施されていること」(72.2%)や「国勢調査の結果は総務省統計局のホームページや報告書で閲覧や利用ができること」(62.7%)などで高くなっている。

一方、「調査日に日本に住むすべての人を調査対象としていること」(25.4%)や「国勢調査員をはじめ、調査関係者には法律で守秘義務が課せられていること」(25.9%)は低くなっている。

		総数 (実数)	知っている	知らない	無記入 ・不詳
調査の実施について	国勢調査は5年おきに10月1日に実施していること	6,236	59.2	38.0	2.8
	国勢調査は世界各国で実施されていること	6,236	24.4	72.2	3.4
	調査日に日本に住むすべての人を調査対象としていること	6,236	71.6	25.4	3.0
	国勢調査は法律に基づいて実施していること	6,236	61.4	35.2	3.4
調査票の記入	調査票を記入して提出することが法律で義務付けられていること	6,236	42.9	53.7	3.5
	個人情報保護法があっても調査票を記入して提出しなければならないこと	6,236	45.8	50.4	3.8
	調査票を記入して提出しなかった場合、法律に罰則が定められていること	6,236	9.7	86.7	3.7
守秘義務	国勢調査員をはじめ、調査関係者には法律で守秘義務が課せられていること	6,236	70.8	25.9	3.3
	国勢調査員をはじめ、調査関係者が守秘義務に反した場合、法律に罰則が定められていること	6,236	45.7	50.7	3.6
調査結果	国勢調査の結果は総務省統計局のホームページや報告書で閲覧や利用ができること	6,236	33.8	62.7	3.5
	国勢調査の結果は国・都道府県・市区町村のほか、民間などでも広く利用されていること	6,236	40.7	56.0	3.4

また、どのような方法でお知らせするとよいですかについては、「テレビ」の割合が77.7%と最も高く、次いで「新聞」(61.0%)、「市区町村広報誌」(45.2%)となっている。これを各属性別にみても、おおむね同様の傾向となっているが、年齢階級が「20歳代」では「電車やバスの中吊り」のほうが、また、調査票の提出方法が「インターネット回答」では「インターネット広告」のほうが、「市区町村広報誌」の割合より高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「どのような方法でお知らせするとよいですか」について回答者数

(%)

	総数 (実数)	どのような方法でお知らせするとよいですか									
		テレビ	ラジオ	新聞	雑誌	電車や バスの中吊り	ポスター	インターネット 広告	市区町村 広報誌	その他	無記入 ・不詳
総数	6,236	77.7	25.7	61.0	8.1	17.9	22.1	17.5	45.2	3.5	9.5
男女の別											
男	2,608	76.3	26.0	62.8	7.2	14.1	18.7	17.3	42.4	3.6	8.8
女	3,368	80.1	25.6	60.7	9.0	21.4	25.4	18.3	47.7	3.4	9.3
無記入・不詳	260	62.3	23.5	47.7	6.2	10.0	14.6	9.2	40.0	4.6	20.4
年齢階級											
20歳未満	131	80.2	15.3	45.0	19.8	28.2	29.0	25.2	29.0	4.6	10.7
20歳代	398	83.4	19.1	46.7	16.8	34.2	31.2	31.7	25.6	5.5	8.5
30歳代	864	85.9	22.7	56.0	12.2	26.0	23.5	27.8	38.2	4.7	7.3
40歳代	983	82.2	28.2	66.6	9.8	23.8	27.6	24.0	43.2	3.4	8.5
50歳代	1,197	82.1	29.5	62.5	7.2	16.4	23.2	17.8	46.2	2.7	7.2
60歳代	1,262	76.6	28.9	67.5	5.6	12.9	21.0	12.2	52.3	3.1	8.3
70歳以上	1,228	64.7	22.3	59.9	3.4	8.5	13.9	5.5	52.4	3.1	14.0
無記入・不詳	173	67.1	22.5	50.9	6.9	11.6	16.8	13.9	37.6	4.6	21.4
世帯員の数											
1人	1,526	74.9	22.9	50.5	9.8	21.4	21.6	18.9	37.2	4.6	11.8
2人以上	4,498	79.2	26.7	65.3	7.5	16.9	22.4	17.3	48.2	3.1	8.3
無記入・不詳	212	67.9	24.5	48.1	7.5	13.2	20.3	12.7	37.7	5.2	20.3
住居の形態											
農林漁家	139	71.9	33.8	66.9	4.3	5.0	15.8	12.2	51.1	1.4	10.1
商店	72	62.5	18.1	50.0	2.8	5.6	15.3	5.6	38.9	0.0	23.6
一戸建住宅	3,131	76.5	27.7	66.2	6.5	12.6	20.3	14.1	52.4	2.9	9.4
オートロックマンション	989	84.0	22.6	59.9	9.4	31.9	26.9	24.4	37.9	4.2	6.4
オートロック以外のアパート・マンション	1,209	81.4	24.9	55.8	11.8	23.5	25.2	24.0	36.2	4.6	8.3
その他	235	77.4	20.4	48.1	11.9	20.9	24.7	19.6	37.0	3.4	10.6
無記入・不詳	461	67.5	21.5	48.8	6.3	13.4	17.8	11.7	38.2	4.1	18.0
調査票の提出方法											
インターネットで回答	181	82.3	24.3	63.0	17.7	32.0	27.6	43.1	39.8	6.1	5.5
調査員に提出	1,399	78.1	24.7	61.8	6.6	13.6	20.2	15.1	48.6	3.4	9.1
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	4,057	79.5	26.6	62.7	8.5	19.4	23.5	18.0	45.5	3.2	8.3
その他の提出方法	33	78.8	12.1	54.5	21.2	30.3	24.2	27.3	30.3	3.0	15.2
無記入・不詳	566	63.1	22.4	47.0	5.3	12.5	15.0	11.5	36.7	4.9	20.7

【どのような方法でお知らせするとよいかの「その他」の具体的な内容】

- 調査票配布の際に配られる書類及び調査員からの説明
- 各戸へチラシの配布
- 町内会の会合や回覧板
- 個人名あての手紙
- すべてのメディア
- 宣伝車等を使用した街頭での広報
- 総務省統計局のホームページ内でゲームやクイズとして扱うことにより、国勢調査に関する事項の理解を深める
- 若年者に人気のあるアイドルを登用する
- 携帯電話のサイトやメール
- 学校の授業
- 「調査日に日本に住むすべての人を調査対象としていること」について、調査票の目立つところに記載
- 「調査票を記入して提出しなかった場合、法律に罰則が定められていること」について、実際に罰則が実施されることを広報する

(2) 調査の実施について

ア 「国勢調査は5年おきに10月1日に実施していること」について、「知っている」の割合が59.2%と高くなっている。これを各属性別にみると、年齢階級が「30歳代」以下、住居の形態が「オートロックマンション以外のアパート・マンション」及び「その他」（学生寮など）では、それぞれ「知らない」の割合が高くなっている。

イ 「国勢調査は世界各国で実施されていること」について、「知らない」の割合が72.2%と高く、これを各属性別にみても、同様の傾向となっている。

ウ 「調査日に日本に住むすべての人を調査対象としていること」について、「知っている」の割合が71.6%と高くなっている。これを各属性別にみると、年齢階級が「20歳未満」では「知らない」の割合が高くなっている。

エ 「国勢調査は法律に基づいて実施していること」について、「知っている」の割合が61.4%と高くなっている。これを各属性別にみると、年齢階級が「30歳代」以下では「知らない」の割合が高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「国勢調査に関する認知度」について回答者数 (%)

	国勢調査は5年おきに10月1日に実施していること				国勢調査は世界各国で実施されていること				調査日に日本に住むすべての人を調査対象としていること				国勢調査は法律に基づいて実施していること			
	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳
総数	6,236	59.2	38.0	2.8	6,236	24.4	72.2	3.4	6,236	71.6	25.4	3.0	6,236	61.4	35.2	3.4
男女の別																
男	2,608	63.8	34.0	2.1	2,608	29.4	67.7	2.8	2,608	73.5	24.1	2.4	2,608	67.1	30.1	2.7
女	3,368	55.4	41.7	2.9	3,368	20.2	76.4	3.4	3,368	70.8	26.2	3.1	3,368	57.2	39.4	3.4
無記入・不詳	260	61.9	30.0	8.1	260	28.1	61.9	10.0	260	62.3	28.1	9.6	260	58.1	30.8	11.2
年齢階級																
20歳未満	131	8.4	91.6	0.0	131	19.8	80.2	0.0	131	38.2	61.8	0.0	131	38.9	61.1	0.0
20歳代	398	29.9	69.6	0.5	398	18.1	81.4	0.5	398	56.0	43.5	0.5	398	47.0	52.5	0.5
30歳代	864	40.6	58.4	0.9	864	14.6	84.4	1.0	864	61.7	37.0	1.3	864	48.4	50.6	1.0
40歳代	983	52.5	46.1	1.4	983	19.9	78.7	1.3	983	72.1	26.7	1.2	983	55.0	43.5	1.4
50歳代	1,197	63.6	34.3	2.1	1,197	22.3	75.6	2.1	1,197	76.4	21.6	1.9	1,197	60.2	37.8	1.9
60歳代	1,262	70.7	26.1	3.2	1,262	28.1	68.5	3.4	1,262	78.5	18.2	3.2	1,262	69.2	26.4	4.4
70歳以上	1,228	76.4	17.6	6.0	1,228	35.4	55.9	8.6	1,228	76.4	16.5	7.1	1,228	76.7	15.6	7.7
無記入・不詳	173	59.5	33.5	6.9	173	26.6	64.7	8.7	173	60.1	31.8	8.1	173	56.1	34.7	9.2
世帯員の数																
1人	1,526	52.9	43.4	3.6	1,526	25.5	70.1	4.4	1,526	67.8	28.1	4.1	1,526	59.4	36.0	4.5
2人以上	4,498	61.3	36.5	2.3	4,498	24.0	73.2	2.8	4,498	73.4	24.2	2.4	4,498	62.4	34.9	2.7
無記入・不詳	212	59.9	31.1	9.0	212	25.9	65.1	9.0	212	59.4	30.2	10.4	212	54.7	33.5	11.8
住居の形態																
農林漁家	139	69.8	27.3	2.9	139	24.5	71.2	4.3	139	77.0	19.4	3.6	139	69.1	27.3	3.6
商店	72	61.1	30.6	8.3	72	26.4	62.5	11.1	72	68.1	22.2	9.7	72	62.5	27.8	9.7
一戸建住宅	3,131	68.0	28.9	3.1	3,131	26.0	70.1	3.9	3,131	75.8	20.9	3.3	3,131	65.9	30.3	3.8
オートロックマンション	989	51.7	46.8	1.5	989	25.4	73.1	1.5	989	71.0	27.5	1.5	989	60.1	38.5	1.4
オートロック以外のアパート・マンション	1,209	46.1	52.4	1.6	1,209	18.4	79.3	2.3	1,209	66.3	31.7	2.0	1,209	53.3	44.3	2.4
その他	235	43.8	53.2	3.0	235	26.8	70.6	2.6	235	58.7	39.1	2.1	235	54.0	44.3	1.7
無記入・不詳	461	54.0	39.9	6.1	461	26.0	68.1	5.9	461	63.1	30.4	6.5	461	56.2	36.0	7.8
調査票の提出方法																
インターネットで回答	181	54.7	42.5	2.8	181	26.0	71.8	2.2	181	76.2	21.5	2.2	181	63.5	33.7	2.8
調査員に提出	1,399	62.6	35.6	1.8	1,399	23.2	74.3	2.5	1,399	72.9	25.0	2.1	1,399	63.5	34.1	2.4
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	4,057	58.7	39.0	2.3	4,057	24.4	72.8	2.8	4,057	72.0	25.5	2.5	4,057	61.2	36.1	2.7
その他の提出方法	33	42.4	57.6	0.0	33	42.4	57.6	0.0	33	72.7	27.3	0.0	33	69.7	30.3	0.0
無記入・不詳	566	56.5	33.9	9.5	566	26.0	63.3	10.8	566	63.4	26.5	10.1	566	56.7	31.6	11.7

(3) 調査票の記入について

ア 「調査票を記入して提出することが法律で義務付けられていること」について、「知らない」の割合が53.7%と高くなっている。これを各属性別にみると、年齢階級が「60歳代」以上並びに住居の形態が「商店」及び「一戸建住宅」では、それぞれ「知っている」の割合が高くなっている。

イ 「個人情報保護法があっても調査票を記入して提出しなければならないこと」について、「知らない」の割合が50.4%と高くなっている。これを各属性別にみると、年齢階級が「60歳代」以上と、住居の形態が「農林漁家」、「商店」及び「一戸建住宅」並びに調査票の提出方法が「調査員に提出」で、それぞれ「知っている」の割合が高くなっている。

ウ 「調査票を記入して提出しなかった場合、法律に罰則が定められていること」について、「知らない」の割合が86.7%と高く、これを各属性別にみても、同様の傾向となっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「国勢調査に関する認知度」について回答者数 (%)

	調査票を記入して提出することが法律で義務付けられていること				個人情報保護法があっても調査票を記入して提出しなければならないこと				調査票を記入して提出しなかった場合、法律に罰則が定められていること			
	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知って いる	知ら ない	無記入 ・不詳
総数	6,236	42.9	53.7	3.5	6,236	45.8	50.4	3.8	6,236	9.7	86.7	3.7
男女の別												
男	2,608	46.3	51.0	2.7	2,608	46.8	50.4	2.8	2,608	13.6	83.5	2.9
女	3,368	40.3	56.2	3.5	3,368	45.0	51.0	4.0	3,368	6.4	90.0	3.6
無記入・不詳	260	41.9	46.9	11.2	260	45.4	42.7	11.9	260	12.7	75.0	12.3
年齢階級												
20歳未満	131	14.5	85.5	0.0	131	19.8	80.2	0.0	131	2.3	96.9	0.8
20歳代	398	23.6	75.9	0.5	398	27.4	71.9	0.8	398	8.5	91.0	0.5
30歳代	864	26.7	72.1	1.2	864	29.2	69.8	1.0	864	4.1	94.8	1.2
40歳代	983	37.0	61.3	1.6	983	40.3	58.3	1.4	983	7.5	90.8	1.6
50歳代	1,197	38.8	58.8	2.3	1,197	46.9	50.5	2.6	1,197	7.4	90.4	2.2
60歳代	1,262	53.7	42.8	3.5	1,262	56.5	39.5	4.0	1,262	11.6	84.9	3.6
70歳以上	1,228	61.6	30.1	8.2	1,228	59.2	31.6	9.2	1,228	16.3	74.8	9.0
無記入・不詳	173	38.2	53.2	8.7	173	41.0	49.1	9.8	173	13.3	76.3	10.4
世帯員の数												
1人	1,526	41.0	54.5	4.5	1,526	43.3	51.9	4.8	1,526	9.8	85.2	5.0
2人以上	4,498	43.7	53.6	2.7	4,498	46.7	50.2	3.0	4,498	9.5	87.7	2.8
無記入・不詳	212	40.1	48.1	11.8	212	43.9	43.9	12.3	212	11.8	75.5	12.7
住居の形態												
農林漁家	139	48.2	48.2	3.6	139	51.8	44.6	3.6	139	13.7	81.3	5.0
商店	72	50.0	40.3	9.7	72	47.2	43.1	9.7	72	11.1	79.2	9.7
一戸建住宅	3,131	48.5	47.7	3.8	3,131	51.5	44.2	4.3	3,131	10.9	85.2	3.9
オートロックマンション	989	39.8	58.4	1.7	989	43.0	55.3	1.7	989	8.9	89.3	1.8
オートロック以外のアパート・マンション	1,209	32.2	65.4	2.4	1,209	34.6	62.8	2.6	1,209	5.4	92.1	2.5
その他	235	34.9	63.0	2.1	235	41.3	55.7	3.0	235	11.1	86.0	3.0
無記入・不詳	461	41.0	51.8	7.2	461	42.3	50.1	7.6	461	12.4	79.4	8.2
調査票の提出方法												
インターネットで回答	181	36.5	61.3	2.2	181	43.1	54.1	2.8	181	9.4	87.8	2.8
調査員に提出	1,399	46.8	50.3	2.9	1,399	49.9	47.3	2.8	1,399	9.6	87.7	2.7
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	4,057	42.0	55.4	2.6	4,057	45.0	52.0	3.0	4,057	9.5	87.7	2.8
その他の提出方法	33	36.4	63.6	0.0	33	42.4	57.6	0.0	33	9.1	90.9	0.0
無記入・不詳	566	41.9	46.3	11.8	566	42.0	45.1	12.9	566	11.1	76.3	12.5

(4) 守秘義務について

ア 「国勢調査員をはじめ、調査関係者には法律で守秘義務が課せられていること」について、「知っている」の割合が70.8%と高くなっている。これを各属性性別にみると、年齢階級が「20歳未満」で「知らない」の割合が高くなっている。

イ 「国勢調査員をはじめ、調査関係者が守秘義務に反した場合、法律に罰則が定められていること」について、「知らない」の割合が50.7%と高くなっている。これを各属性性別にみると、男女の別が「男性」、年齢階級が「60歳代」以上、住居の形態が「農林漁家」及び調査票の提出方法が「インターネットで回答」で、それぞれ「知っている」の割合が高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「国勢調査に関する認知度」について回答者数 (%)

		国勢調査員をはじめ、調査関係者には法律で守秘義務が課せられていること				国勢調査員をはじめ、調査関係者が守秘義務に反した場合、法律に罰則が定められていること			
		総数 (実数)	知っ てい る	知ら ない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知っ てい る	知ら ない	無記入 ・不詳
総数		6,236	70.8	25.9	3.3	6,236	45.7	50.7	3.6
男女 の別	男	2,608	72.3	25.3	2.4	2,608	51.6	45.4	3.0
	女	3,368	70.0	26.6	3.4	3,368	41.3	55.2	3.6
	無記入・不詳	260	66.5	23.1	10.4	260	43.8	45.4	10.8
年 齢 階 級	20歳未満	131	41.2	58.8	0.0	131	32.1	67.9	0.0
	20歳代	398	50.0	49.5	0.5	398	37.9	61.6	0.5
	30歳代	864	60.9	38.2	0.9	864	39.6	59.5	0.9
	40歳代	983	69.7	28.7	1.6	983	47.1	51.2	1.7
	50歳代	1,197	75.2	22.6	2.3	1,197	47.4	49.9	2.8
	60歳代	1,262	79.4	17.1	3.5	1,262	49.2	47.1	3.7
	70歳以上	1,228	76.0	16.5	7.5	1,228	48.5	43.2	8.3
	無記入・不詳	173	67.1	23.7	9.2	173	39.3	50.9	9.8
世 帯 員 の 数	1人	1,526	64.1	31.7	4.2	1,526	41.0	54.3	4.7
	2人以上	4,498	73.4	24.0	2.6	4,498	47.6	49.5	2.9
	無記入・不詳	212	63.7	24.1	12.3	212	38.2	50.0	11.8
住 居 の 形 態	農林漁家	139	79.1	16.5	4.3	139	52.5	43.2	4.3
	商店	72	70.8	18.1	11.1	72	43.1	44.4	12.5
	一戸建住宅	3,131	75.3	21.3	3.4	3,131	47.3	48.8	4.0
	オートロックマンション	989	71.3	27.3	1.4	989	47.9	50.4	1.7
	オートロック以外のアパート・マンション	1,209	62.7	35.2	2.2	1,209	41.5	56.2	2.2
	その他	235	60.9	36.6	2.6	235	41.3	55.7	3.0
	無記入・不詳	461	63.1	28.9	8.0	461	41.6	50.5	7.8
調 査 票 の 提 出 方 法	インターネットで回答	181	75.7	22.1	2.2	181	54.1	43.6	2.2
	調査員に提出	1,399	73.1	24.6	2.4	1,399	45.9	51.4	2.7
	郵送で提出・市区町村役場に直接提出	4,057	71.3	26.3	2.5	4,057	46.3	50.9	2.8
	その他の提出方法	33	66.7	33.3	0.0	33	54.5	45.5	0.0
	無記入・不詳	566	60.6	27.6	11.8	566	37.3	50.2	12.5

(5) 調査結果について

ア 「国勢調査の結果は総務省統計局のホームページや報告書で閲覧や利用ができること」について、「知らない」の割合が62.7%と高く、これを各属性別にみても、同様の傾向となっている。

イ 「国勢調査の結果は国・都道府県・市区町村のほか、民間などでも広く利用されていること」について、「知らない」の割合が56.0%と高くなっている。これを各属性別にみると、住居の形態が「農林漁家」で「知っている」の割合が高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「国勢調査に関する認知度」について回答者数 (%)

		国勢調査の結果は総務省統計局のホームページや報告書で閲覧や利用ができること				国勢調査の結果は国・都道府県・市区町村のほか、民間などでも広く利用されていること			
		総数 (実数)	知っている	知らない	無記入 ・不詳	総数 (実数)	知っている	知らない	無記入 ・不詳
総数		6,236	33.8	62.7	3.5	6,236	40.7	56.0	3.4
男女の別	男	2,608	38.8	58.5	2.7	2,608	45.1	52.3	2.6
	女	3,368	30.6	66.0	3.5	3,368	37.6	59.2	3.3
	無記入・不詳	260	26.5	61.2	12.3	260	36.2	51.9	11.9
年齢階級	20歳未満	131	19.1	80.9	0.0	131	26.0	74.0	0.0
	20歳代	398	32.2	67.1	0.8	398	34.7	64.6	0.8
	30歳代	864	29.9	69.1	1.0	864	31.6	67.2	1.2
	40歳代	983	35.7	62.9	1.4	983	40.3	58.3	1.4
	50歳代	1,197	37.4	60.5	2.1	1,197	42.0	55.5	2.5
	60歳代	1,262	36.1	60.1	3.8	1,262	47.4	49.1	3.5
	70歳以上	1,228	32.2	59.1	8.6	1,228	43.6	49.1	7.3
	無記入・不詳	173	27.2	64.2	8.7	173	33.5	55.5	11.0
世帯員の数	1人	1,526	30.1	65.3	4.7	1,526	36.8	58.8	4.4
	2人以上	4,498	35.3	61.9	2.8	4,498	42.2	55.1	2.6
	無記入・不詳	212	28.3	60.4	11.3	212	34.4	53.8	11.8
住居の形態	農林漁家	139	39.6	55.4	5.0	139	48.9	46.8	4.3
	商店	72	34.7	55.6	9.7	72	34.7	55.6	9.7
	一戸建住宅	3,131	34.8	61.2	4.0	3,131	43.0	53.3	3.7
	オートロックマンション	989	38.2	60.2	1.6	989	41.9	56.3	1.8
	オートロック以外のアパート・マンション	1,209	30.3	67.7	2.1	1,209	35.6	62.4	1.9
	その他	235	23.4	73.6	3.0	235	32.8	65.1	2.1
無記入・不詳	461	30.6	62.3	7.2	461	37.5	54.7	7.8	
調査票の提出方法	インターネットで回答	181	48.1	49.7	2.2	181	47.5	50.3	2.2
	調査員に提出	1,399	32.9	64.2	2.9	1,399	40.7	57.1	2.2
	郵送で提出・市区町村役場に直接提出	4,057	34.6	62.9	2.5	4,057	41.3	56.0	2.7
	その他の提出方法	33	21.2	78.8	0.0	33	42.4	57.6	0.0
	無記入・不詳	566	26.7	60.6	12.7	566	33.7	54.6	11.7

5 調査票の配布・提出時の調査員について

(1) 調査票を受け取った時と提出した時は同じ調査員だったか

調査票を受け取った時と提出した時は同じ調査員だったかについては、「同じ調査員だった」の割合が74.3%と最も高く、次いで「わからない・会っていない」の割合が17.6%となっている。

これをフォローアップ回収事務調査員の配置方法別にみると、調査員縮小型（フォローアップ回収は調査票配布とは別の者）についても「同じ調査員だった」の割合が73.9%と高いことから、世帯アンケートの回答者の大半は、当初回収期間中に調査票を提出していると推測される。

フォローアップ回収事務調査員の配置方法別「受け取った時と提出した時は同じ調査員だったかどうか」について回答者数(調査員に提出した者) (%)

	総数 (実数)	同じ調査員 だった	違う調査員 だった	わからない・ 会っていない	無記入・不詳
総数	1,399	74.3	2.8	17.6	5.4
調査員継続型	585	75.2	1.9	17.1	5.8
調査員縮小型(フォローアップ 回収は調査票配布と同一の者)	376	75.3	1.1	18.1	5.6
調査員縮小型(フォローアップ 回収は調査票配布とは別の者)	406	73.9	4.9	17.0	4.2
不詳	32	50.0	12.5	28.1	9.4

(2) 調査票を受け取る時と提出する時の調査員は同じ人がよいか

ア 調査票を受け取った時と提出した時は「同じ調査員だった」と回答した人について

「同じ調査員だった」と回答した人について、フォローアップ回収事務調査員の配置方法別にみると、いずれも「同じ調査員がよい」の割合が最も高くなっている。

フォローアップ回収事務調査員の配置方法別「受け取る時と提出する時は同じ調査員がよいか」について回答者数(調査員に提出した者) - 「同じ調査員だった」と回答した人 - (%)

	受け取った時と 提出時は同じ 調査員だった (実数)	受け取る時と提出する時は同じ調査員がよいか			無記入・不詳
		同じ調査員が よい	違う調査員が よい	どちらでも よい	
総数	1,039	78.2	0.6	12.4	8.9
調査員継続型	440	77.3	0.2	12.5	10.0
調査員縮小型(フォローアップ 回収は調査票配布と同一の者)	283	82.7	0.4	11.3	5.7
調査員縮小型(フォローアップ 回収は調査票配布とは別の者)	300	76.3	1.0	13.0	9.7
不詳	16	56.3	6.3	18.8	18.8

イ 調査票を受け取った時と提出した時は「違う調査員だった」と回答した人について

「違う調査員だった」と回答した人について、フォローアップ回収事務調査員の配置方法別にみると、調査員継続型及び調査員縮小型（フォローアップ回収は調査票配布と同一の者）では「同じ調査員がよい」の割合が比較的高くなっているが、調査員縮小型（フォローアップ回収は調査票配布とは別の者）では「どちらでもよい」の割合が高くなっている。

フォローアップ回収事務調査員の配置方法別「受け取る時と提出する時は同じ調査員がよいか」について回答者数(調査員に提出した者) - 「違う調査員だった」と回答した人 - (%)

	受け取った時と提出時は違う調査員だった (実数)	受け取る時と提出する時は同じ調査員がよいか			無記入・不詳
		同じ調査員がよい	違う調査員がよい	どちらでもよい	
総数	39	30.8	10.3	46.2	12.8
調査員継続型	11	45.5	0.0	36.4	18.2
調査員縮小型(フォローアップ回収は調査票配布と同一の者)	4	50.0	25.0	0.0	25.0
調査員縮小型(フォローアップ回収は調査票配布とは別の者)	20	20.0	10.0	60.0	10.0
不詳	4	25.0	25.0	50.0	0.0

ウ 調査票を受け取った時と提出した時の調査員は「わからない・会っていない」と回答した人について

「わからない・会っていない」と回答した人について、フォローアップ回収事務調査員の配置方法別にみると、いずれも「どちらでもよい」の割合が比較的高くなっている。

フォローアップ回収事務調査員の配置方法別「受け取る時と提出する時は同じ調査員がよいか」について回答者数(調査員に提出した者) - 「わからない・会っていない」と回答した人 - (%)

	わからない・会っていない (実数)	受け取る時と提出する時は同じ調査員がよいか			無記入・不詳
		同じ調査員がよい	違う調査員がよい	どちらでもよい	
総数	246	41.9	1.6	50.0	6.5
調査員継続型	100	39.0	3.0	53.0	5.0
調査員縮小型(フォローアップ回収は調査票配布と同一の者)	68	42.6	0.0	48.5	8.8
調査員縮小型(フォローアップ回収は調査票配布とは別の者)	69	43.5	1.4	47.8	7.2
不詳	9	55.6	0.0	44.4	0.0

6 インターネットで回答しなかった理由について

(1) インターネットで回答しなかった理由

インターネットで回答しなかった理由について、「紙の調査票の方が回答しやすいから」(41.0%)、「インターネットの設備がないから」(39.2%)の割合が高くなっている。

また、これを各属性別にみると、男女の別が「女性」、年齢階級が「50歳代」以下、世帯員の数が「2人以上」、住居の形態が「オートロックマンション」、「オートロックマンション以外のアパート・マンション」及び「その他」(学生寮など)並びに調査票の提出方法が「郵送で提出・市区町村役場に直接提出」では、それぞれ「紙の調査票の方が回答しやすいから」の割合が高いが、それ以外の属性では「インターネットの設備がないから」の割合が高くなっている。

男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「インターネットで回答しなかった理由」について回答者数(インターネットで回答した者以外)(複数回答) (%)

	総数 (実数)	総数							
		紙の調査票の方が回答しやすいから	インターネットの設備がないから	操作ガイドで推奨された利用環境になかったから	インターネットの使い方がわからないから	セキュリティが不安だから	途中までやってみたが、やめた	その他	無記入・不詳
総数	5,489	41.0	39.2	0.8	11.1	8.3	2.8	7.7	4.4
男女の別									
男	2,305	39.0	41.9	1.4	10.4	7.3	3.3	7.4	4.6
女	3,075	42.8	37.1	0.5	11.6	8.9	2.4	8.0	4.0
無記入・不詳	109	32.1	43.1	0.0	11.0	9.2	5.5	7.3	10.1
年齢階級									
20歳未満	116	50.0	17.2	0.0	0.9	2.6	0.9	22.4	7.8
20歳代	360	44.7	32.8	0.8	1.9	5.6	1.1	14.7	4.4
30歳代	787	50.8	23.0	0.8	2.4	13.3	5.1	13.6	2.5
40歳代	883	47.8	25.3	1.5	7.7	14.6	2.5	10.4	2.7
50歳代	1,098	42.3	37.2	1.1	14.1	10.6	2.6	6.8	3.0
60歳代	1,141	36.5	50.1	0.7	15.8	5.0	1.9	3.2	4.2
70歳以上	1,057	29.9	57.9	0.4	16.6	1.8	3.5	3.1	7.8
無記入・不詳	47	29.8	38.3	0.0	8.5	10.6	4.3	4.3	17.0
世帯員の数									
1人	1,341	35.6	47.7	0.8	8.7	5.7	2.2	8.5	5.1
2人以上	4,072	43.0	36.4	0.9	11.9	9.2	2.9	7.4	3.9
無記入・不詳	76	27.6	42.1	0.0	10.5	3.9	10.5	10.5	18.4
住居の形態									
農林漁家	125	35.2	45.6	0.8	20.0	3.2	0.0	5.6	4.0
商店	63	28.6	44.4	0.0	20.6	3.2	3.2	4.8	6.3
一戸建住宅	2,832	38.9	42.7	0.8	13.6	7.3	2.7	5.9	4.9
オートロックマンション	882	51.4	24.6	0.8	7.7	13.5	4.2	10.7	2.5
オートロック以外のアパート・マンション	1,088	42.3	41.9	1.0	6.3	9.3	2.3	8.4	2.7
その他	207	36.7	30.4	1.0	6.8	4.3	0.0	21.3	6.3
無記入・不詳	292	33.6	41.8	0.7	12.7	4.5	5.1	6.2	9.9
調査票の提出方法									
調査員に提出	1,399	35.2	40.0	0.6	11.9	6.4	2.1	8.0	9.9
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	4,057	43.2	39.2	0.9	10.8	9.0	3.0	7.3	2.4
その他の提出方法	33	15.2	9.1	0.0	12.1	3.0	9.1	45.5	6.1

【インターネットで回答しなかった理由の「その他」の具体的な理由】

- インターネットで回答できることを知らなかった
- PCの電源を入れて起動させるのが面倒だった
- PCの電源を入れて起動させる間に調査票(紙)の記入が終わる程度の内容である。インターネットを使う程の事はない
- インターネット回答の期限が過ぎていた
- 調査員が「調査票を取りに来ます」と言ったから
- 学生寮でまとめて提出したため
- 高齢者は、パソコンは不得意。目が疲れる
- 調査票(紙)を無駄にしたくないから
- 調査票(紙)で配布されなければ、インターネットで回答した
- 返信用の封筒があったから
- 郵送のほうが確実だから

(2) 途中までやってみたが、やめた理由

「途中までやってみたが、やめた」と回答した人について、その理由としては「紙の調査票の方が、わかりやすかったから」の割合が51.3%と最も高くなっており、次いで「エラーが発生して、先に進めなかったから」(21.8%)、「操作に時間がかかりすぎたから」(18.6%)となっている。

これを各属性別にみると、年齢階級が「40歳代」以下ではおおむね「エラーが発生して、先に進めなかったから」の割合が比較的高くなっている。

調査票の種類・男女の別・年齢階級・世帯員の数・住居の形態・調査票の提出方法別「途中までやってみたが、やめた理由」について回答者数(インターネットで回答した者以外)(複数回答) (%)

	途中までやってみたが、やめた(実数)	説明資料や画面上の説明がわかりにくかったから	操作に時間がかかりすぎたから	エラーが発生して、先に進めなかったから	確認コードを変更するのがめんどろだったから	紙の調査票の方が、わかりやすかったから	その他	無記入・不詳
総数	156	17.3	18.6	21.8	14.1	51.3	12.8	0.0
調査票の種類								
調査票甲	73	19.2	16.4	17.8	12.3	52.1	12.3	0.0
調査票乙	83	15.7	20.5	25.3	15.7	50.6	13.3	0.0
男女の別								
男	75	17.3	16.0	21.3	14.7	52.0	16.0	0.0
女	75	17.3	21.3	22.7	13.3	49.3	10.7	0.0
無記入・不詳	6	16.7	16.7	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0
年齢階級								
20歳未満	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代	4	0.0	50.0	50.0	50.0	25.0	0.0	0.0
30歳代	40	22.5	27.5	42.5	17.5	30.0	12.5	0.0
40歳代	22	18.2	27.3	45.5	18.2	36.4	13.6	0.0
50歳代	28	21.4	21.4	7.1	17.9	50.0	17.9	0.0
60歳代	22	18.2	9.1	9.1	13.6	63.6	9.1	0.0
70歳以上	37	8.1	5.4	2.7	0.0	81.1	10.8	0.0
無記入・不詳	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0
世帯員の数								
1人	30	16.7	23.3	23.3	10.0	60.0	10.0	0.0
2人以上	118	17.8	17.8	22.9	15.3	47.5	14.4	0.0
無記入・不詳	8	12.5	12.5	0.0	12.5	75.0	0.0	0.0
住居の形態								
農林漁家	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
商店	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
一戸建住宅	77	16.9	14.3	15.6	10.4	58.4	10.4	0.0
オートロックマンション	37	21.6	29.7	32.4	16.2	32.4	18.9	0.0
オートロック以外のアパート・マンション	25	20.0	24.0	32.0	24.0	52.0	4.0	0.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無記入・不詳	15	6.7	6.7	6.7	13.3	60.0	26.7	0.0
調査票の提出方法								
調査員に提出	30	10.0	13.3	10.0	3.3	66.7	20.0	0.0
郵送で提出・市区町村役場に直接提出	123	18.7	19.5	25.2	17.1	48.8	9.8	0.0
その他の提出方法	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0

【途中までやってみたがやめた理由の「その他」の具体的な理由】

- ログインできなかった
- 指定されたアドレスにたどりつけない
- PDFのバージョンが合わなかった
- ソフトが重すぎたのかフリーズした
- 調査員から調査票を受け取ったその日のうちにインターネットで調査票を入力したが、まだ提出期日前だったので保存しておいた。その後、電子調査票を送信することを忘れてしまい、期日が過ぎてしまった
- 調査票にマークするだけの手間と比較すると、操作がめんどろすぎる。画面の視野が狭すぎて、回答の行方に不安を感じる

7 今回の試験調査や国勢調査についての意見

試験調査について

試験調査を本当に実施しているのか不安になった 43件

試験調査は必要ない、又は必要か疑問 40件

- ・何度も試験調査を行う必要があるのか。
- ・何回も調査を行うことにより煩わしく思い、提出しない人が増えるのではないか。

調査対象となった説明がほしい 39件

- ・どのような基準で調査対象者が選ばれたのか。
- ・試験調査は一部の地域だけで実施されたのか。

その他 14件

- ・試験調査も法律で申告義務が定められているのか。
- ・試験調査なのに調査票を記入して提出することを強要されたので気分が悪かった。

調査員について

調査員の対応に不満がある 36件

- ・2世帯住宅（又は、5人以上の世帯）であるにも関わらず、調査票（又は「調査票の記入のしかた」）が1枚しか配布されなかった。
- ・調査票を受け取っていないのに、調査員は「渡した」と言い張った。
- ・調査票の提出のための日時を打ち合わせていたのに、約束の時間に来なかった。
- ・調査票を受け取ってから後日、調査票を間違えて配布したので交換したいと調査員から言われた。既に記入済みだったらどうしていたのか。
- ・オートロックマンションの共用玄関を入った後、調査員は世帯を訪問し続けていた。勝手に各戸の玄関まで来るのはやめてほしい。

調査員はどのように選出されたのか。どこまで信用していいのかわからない 13件

調査員の対応がよかった 11件

- ・調査員がわかりやすく、丁寧に説明してくれた。
- ・調査員から訪問日時の連絡があったので、助かった。

顔見知りでない調査員がよい。調査員が近所の人なので、調査票の記入内容を見られたくない 10件

身分証明証を提示するようにしてほしい 10件

調査員の説明が不足している、又はわかった 10件

- ・調査の内容をしっかりと説明されないまま調査票を渡された。
- ・郵送やインターネットで提出できるのに、調査員は回収に来るとしか言わなかった。

顔見知りの調査員がよい。全く知らない人に調査票を提出することに不安を感じる 8件

その他 19件

- ・調査員はその地域に精通した者に依頼すれば、地理を良くわかっているし、精度が高まるのではないか。
- ・調査員に質問したい事があったのに、調査員の住所、氏名、連絡先がどこにも記入されていなかった。

調査票の受け取りについて

不在の場合は、郵便受けに入れておけばよい 15件

調査票は調査員が配布するのではなく、郵便で送られたほうがよい 13件

調査票が郵便受けに入っていただけでは信用できないので、調査員から直接受け取りたい 2件

調査票の記入について

高齢者のみの世帯にとって、調査票を記入することは、相当労力のいる作業となる **23件**

高齢者などの場合は、調査員に調査票を記入してほしい **16件**

調査票の郵送提出について

調査票は郵送で提出したい **54件**

- ・留守にすることが多いので、郵送提出は有効な手段。
- ・調査員に訪問されたくないで、郵送で提出したい。

郵送で提出したくない、又は郵送で提出することが不安 **8件**

- ・郵便ポストが遠いので、郵送で提出しなければならないのは困る。
- ・確実に届いたかどうかわからないので、不安。

郵送提出の場合、調査員が訪問して来ないので、調査票を提出することを忘れてしまう **5件**

インターネットによる回答について

インターネットの設備がない世帯や、設備があっても回答が困難な世帯が多いのではないかと **23件**

インターネットで回答することに賛成 **22件**

- ・使いやすければ、国勢調査においてもインターネットで回答したい。
- ・留守にしていることが多いので、インターネットであれば時間を問わず回答することができるのでよい。

オンライン調査システムの環境、電子調査票の仕様を改善してほしい **19件**

- ・操作が面倒だった。
- ・どのような環境でも回答できるようにしてほしい。
- ・画面が見づらい。民間企業の例を見習ってはどうか。

セキュリティが心配なので、インターネットで回答したくない **11件**

その他 **23件**

- ・インターネットで回答できることを知っていたら、インターネットで回答していた。調査員から説明するとともに、広報してはどうか。
- ・紙と人件費の節約のため、オンライン調査のほうがよい。
- ・オンライン調査システムは費用がかかり無駄。調査員が回収したほうがよいのではないかと。
- ・調査票の提出方法がインターネット回答のみということにはしないほしい。

調査員への提出について

調査員に調査票の記入内容を見られたくないので、調査票に封をして調査員に提出することができるようになってよかった **7件**

調査票提出時の調査員は、調査票配布時の調査員と同じ人がよい。違う調査員だと不安になる **4件**

その他、調査票の提出について

調査票を提出したのに、調査員が訪問してきたり、調査票の提出を促すチラシが郵便受けに入っていたので、迷惑だった **17件**

提出方法が自由に選択でき、便利だった **4件**

不在であったため、調査員が何度も訪問してくれたが、事前に提出方法を教えることができれば、調査員の無駄はなくなるのではないかと **3件**

顔見知りの調査員に提出したくないので、役所に直接提出したい **2件**

調査票の提出方法が複数あったため、どの方法で提出してよいかわからなかった **2件**

その他、調査票の受け取り、提出について

調査票を受け取ってから提出までの期限が短いので、長くしてほしい **10件**
留守にしていることが多いので、事前に訪問時間を教えてもらうか、打ち合わせたい **9件**

アパート、マンションのオーナー、管理会社が調査すれば円滑に行えるのではないか **4件**

調査書類・用品について

調査票

- ・わかりやすい表現で記載してほしい。
- ・文字が小さくて読みづらい。
- ・世帯員によっては、記入しない項目もあるので、過剰記入とならないよう、記入のガイドをわかりやすく明示してほしい。

調査票の記入のしかた

- ・参考になった。必要。
- ・子供から高齢者まで理解できるよう、文字を大きくしたり、わかりやすい言葉を使用してほしい。

オンライン調査操作ガイド

- ・実際の画面の表示と違ったので、わかりにくかった。
- ・文字、絵とも小さいので、大きくしてほしい。

調査票郵送提出用封筒

- ・差出人の住所、氏名の記入欄が設けられているのはおかしい。
- ・提出期限を明記してほしい。
- ・切手は不要であるということがわからなかった。

調査票の提出はお済みですか（確認状）

- ・調査書類を早い時期に受け取っていたため、提出することを忘れていた。確認状が配布されたことにより、調査票を提出することを思い出したので、とても助かった。

世帯アンケート

- ・アンケートが配布されるのが遅く、調査票記入時のことを忘れてしまった。
- ・アンケートの設問項目により、国勢調査について知ることができた。
- ・郵便料金もったいないので、アンケートは調査票と同時に提出するようにすべき。
- ・調査票を記入して提出した上に、アンケートまで記入するのは煩わしい。
- ・どうしてインターネットで回答しなかったのかと聞かれることが不愉快。郵送でも他の方法でもよいのであれば、なぜそんなことを聞くのか。

調査項目について

氏名

- ・調査票の記入内容は統計を作成するためだけに使用するのであれば、氏名を記入する必要はないのではないか。
- ・姓のみ記入することでよいのではないか。

現在の場所に住んでいる期間

- ・引っ越してきて何年目になるのかすぐに思い出せず、すぐに記入できなかった。

教育

- ・30歳代以上の人の教育状況を調査して意味があるのか。

仕事をしましたか

- ・無職で年金受給者の項目がない。

従業地又は通学地

- ・自営業（電気設備業）で自宅兼会社の場合、従業地は自宅なのか、仕事を実際に行っている現場の住所なのか、説明がほしい。現場は2か所以上の場合もある。
- ・通学しながらアルバイトをしている場合、どちらも記入するのか、どちらか一方のみ記入するのかわからない。

勤め先・業主などの名称

- ・統計に必要ないのであれば、名称まで記入する必要はない。

本人の仕事の内容

- ・どのくらい詳しく記入してよいかわからない。

住居の種類、住宅の建て方

- ・どれに該当するのかわからない。

住宅の床面積の合計

- ・調べないと記入できない。
- ・坪又は畳の単位で記入したい。

調査項目に関する他の意見・提案

- ・調査項目を吟味して少なくするなど、もっと簡素化してほしい。
- ・プライバシーに関する事等、記入したくない項目もある。具体的に記入する必要はないのではないか。
- ・プライバシーとの関係のためなのか、過去に比べて項目や内容が簡略化されているが、これで国民の実態が把握できるのか心配。

調査の場所、世帯の捉え方に関する意見・提案

- ・住民票の登録と実情が異なっている場合、実情について調査票を記入することになっているが、その目的が知りたい。
- ・同棲（住所は同じ場所）している場合の記入の仕方がわかりにくかった。説明を具体的に初めに記述してほしい。（1つの家に調査票を2枚ほしかった）

個人情報保護関連について

守秘義務が守られているか疑問 13件

個人情報が漏れることが心配 12件

個人情報保護法があっても調査票を記入して提出しなければならないというのは矛盾している 3件

広報全般について

事前に知らせてほしい 13件

国民の協力が得られるよう、活発に広報してほしい 8件

広報のために費用をかけ過ぎないでほしい 3件

単身の若者向けの広報が必要 3件

広報内容について

調査の目的等、わからないことが多いので、もっと広報してほしい 7件

個人情報保護法があっても調査票を記入して提出しなければならないことを知らせるべき 7件

申告義務があること、罰則があることを知らせてほしい 6件

もっと積極的にわかりやすく宣伝することが大切 6件

国勢調査がいかに国民の役に立つか等、国民の身近な話題を用いて広報すれば、協力が得られるのではないかと 2件

広報媒体について

様々な広報媒体で広報してほしい 12件

みんなが見そうなテレビ番組、CMで広報するとよいのではないか 3件

調査結果について

国勢調査の結果は何のためにどのように利用されているかわからない 58件

調査の結果によって得られた課題を、国・都道府県・市町村の問題点として課題解決に適正に活用してほしい 23件

国勢調査結果は民間でも利用されているとのことだが、民間は信用できない。民間には利用されたくない 11件

民間ではどのように国勢調査結果を利用しているのか 8件

その他、国勢調査全般について

莫大な費用と労力を費やす調査は見直すべき 30件

各市町村で人口は把握しているはずなので、国勢調査は必要ない 9件

目的がわからないので、協力しようという気持ちになれない。国民全員が理解できるように周知すべき 5件

日本の実態を知ることができるので、国勢調査は必要 4件

試験調査を行ったにも関わらず、平成 22 年国勢調査の調査方法が前回調査までと同様であれば、試験調査は無駄となる。活かしてほしい 4件

粗品を配るか、抽選で景品が当たるようにすれば、調査票を提出する者が増えるのではないかと 4件

配布された調査票が本物であるかどうかの判断が難しい 3件

調査票を記入して提出することが法律で義務付けられているのであれば、その旨明示すべき 2件

一人ひとりの協力により、精度の高い統計データが得られると思う 2件

若者は国勢調査のことを知らないで、学校教育の中で教えるべき 2件

秘

総務省承認 No.27257
承認期限 平成20年7月31日まで

平成22年国勢調査 調査票甲

平成20年6月13日
総務省統計局

○記入には黒の鉛筆を使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○答えを記入する欄が○の場合は、当てはまる○を●のようにぬりつぶしてください。
○答えを数字で記入する欄は、下の例のように枠からはみださないように、右つづめで書いてください。

記入例

数字の記入例

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

はねない 上につきぬける 角をつける

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。



世帯員全員に ついて	1 氏名及び男女の別	1 (氏名) 男 女	2 (氏名) 男 女	3 (氏名) 男 女	4 (氏名) 男 女
	2 世帯主との続き柄	世帯主又は代表者 配偶者 子 子の配偶者 子の父母 世帯主の配偶者の父母 孫 祖父母 兄弟姉妹 他の親族の親人 その他	世帯主又は代表者 配偶者 子 子の配偶者 子の父母 世帯主の配偶者の父母 孫 祖父母 兄弟姉妹 他の親族の親人 その他	世帯主又は代表者 配偶者 子 子の配偶者 子の父母 世帯主の配偶者の父母 孫 祖父母 兄弟姉妹 他の親族の親人 その他	世帯主又は代表者 配偶者 子 子の配偶者 子の父母 世帯主の配偶者の父母 孫 祖父母 兄弟姉妹 他の親族の親人 その他
	3 出生の年月	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦
	4 配偶者の有無	未婚(独身など) 配偶者あり 死別 離別	未婚(独身など) 配偶者あり 死別 離別	未婚(独身など) 配偶者あり 死別 離別	未婚(独身など) 配偶者あり 死別 離別
	5 国籍	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)
	6 現在の場所に住んでいる期間	出生時から 1年未満 1～4年未満 5～9年未満 10～19年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1～4年未満 5～9年未満 10～19年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1～4年未満 5～9年未満 10～19年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1～4年未満 5～9年未満 10～19年未満 20年以上
	7 5年前(平成15年6月13日)にはどこに住んでいましたか	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他の区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他の区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他の区・市町村 外国	現在と同じ場所 同じ区・市町村内の他の場所 他の区・市町村 外国

「調査票の記入のしかた」を参照して 大わくの中だけに記入してください

世帯について ((1)～(4)欄は 調査票が2枚以上にわたる場合は1枚目に記入してください)

(1) 世帯員の数

世帯員全員の数を 総数 男 女 書いてください

(2) 住居の種類

(2)～(4)欄は一般の世帯の場合のみ記入してください

(3)・(4)欄に記入し 第2面へ

(3) 住宅の建て方

一戸建 長屋建(テラスハウス) 共同住宅 その他

(4) 住宅の床面積の合計(延べ面積)

20㎡未満	20～29㎡	30～39㎡	40～49㎡	50～59㎡	60～69㎡	70～79㎡	80㎡以上
○	○	○	○	○	○	○	○

・住宅の床面積の合計(居住室の床面積のほか 玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押し入れなどを含む)を記入してください

・営業用の部分及び他の世帯が使っている部分は除いてください

世帯では 下の欄には記入しないでください

世帯の種類

一般の世帯(世帯主が個人) 学校の学生・生徒(世帯主が学校) 病院・療養所の入居者 老人ホーム等の社会施設の入居者 その他

電話番号

(わからないことがあった場合 問い合わせて利用させていただきます)

インターネット用

調査票ID: 確認コード:

市区町村コード

調査区番号

世帯番号

この世帯の調査票 枚のうち 枚目

裏面(第2面)にも記入してください

	1	2	3	4
8 教育 ・現在 学校に在学しているかどうかについて記入したうえで 矢印に従って記入してください ・在学中の人はその学校 卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人は その前の卒業学校)について記入してください	在学中 卒業 未就学 小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 短大 大 学 乳 児 其 他 高 専 大 学 院	在学中 卒業 未就学 小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 短大 大 学 乳 児 其 他 高 専 大 学 院	在学中 卒業 未就学 小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 短大 大 学 乳 児 其 他 高 専 大 学 院	在学中 卒業 未就学 小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 短大 大 学 乳 児 其 他 高 専 大 学 院
9 6月6日から12日までの1週間に仕事をしましたか ・仕事とは 収入を伴う仕事をいい 自家営業(農業や店の仕事など)の手伝いや内職・パートタイム・アルバイトも含めます ・通学には 予備校・専門学校などに通っている場合も含めます	主に 家事などの 通学のかた 仕事 ほか仕事 わら仕事 10~14欄にも記入 10.11欄のみ記入	主に 家事などの 通学のかた 仕事 ほか仕事 わら仕事 10~14欄にも記入 10.11欄のみ記入	主に 家事などの 通学のかた 仕事 ほか仕事 わら仕事 10~14欄にも記入 10.11欄のみ記入	主に 家事などの 通学のかた 仕事 ほか仕事 わら仕事 10~14欄にも記入 10.11欄のみ記入
10 従業地又は通学地 ・仕事も通学もしている人は 仕事をしている場所について記入してください ・同じ区・市町村 又は他の区・市町村の場合は その都道府県・市区町村名(東京都区部と政令指定都市の場合は 区名まで)も書いてください	自宅(住み込みをきく) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)	自宅(住み込みをきく) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)	自宅(住み込みをきく) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)	自宅(住み込みをきく) 同じ区・市町村 他の区・市町村 12欄へ (所在地を左づめて記入)
11 従業地又は通学地までの利用交通手段 ・二つ以上の交通手段を利用している場合は 該当するものすべてに記入してください	徒歩のみ 鉄道 乗合自動車 自転車 バイク タクシー その他 ハイヤー タクシー オート バイク 自転車 その他	徒歩のみ 鉄道 乗合自動車 自転車 バイク タクシー その他 ハイヤー タクシー オート バイク 自転車 その他	徒歩のみ 鉄道 乗合自動車 自転車 バイク タクシー その他 ハイヤー タクシー オート バイク 自転車 その他	徒歩のみ 鉄道 乗合自動車 自転車 バイク タクシー その他 ハイヤー タクシー オート バイク 自転車 その他
12 勤め先・業主などの別 ・労働者派遣事業所の派遣社員とは 労働者派遣法に基づいて働いている人を含みます ・パート・アルバイト・その他には 契約社員 嘱託なども含めます ・自営業主とは 個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自出業の人をいいます	雇われている人 正規の労働者 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人ありなし 家族従業者 家庭内の役員(内職)	雇われている人 正規の労働者 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人ありなし 家族従業者 家庭内の役員(内職)	雇われている人 正規の労働者 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人ありなし 家族従業者 家庭内の役員(内職)	雇われている人 正規の労働者 労働者派遣事業所の派遣社員 パート・アルバイト・その他 会社などの役員 自営業主 雇人ありなし 家族従業者 家庭内の役員(内職)
13 勤め先・業主などの名称及び事業の内容 ・仕事をしている事業所(本社・本店 支社・支店 営業所 工場 商店など)の名称(官公庁の場合は匿名まで)を書いてください ・労働者派遣事業所の派遣社員は 派遣先の状況について書いてください	「調査票の記入のしかた」の12~15ページの書き方の例を参考にして くわしく書いてください			
14 本人の仕事の内容 ・本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください	(Blank area for detailed job description)			

この調査票は機械にかけますので汚さないでください

秘

総務省承認 No.27258
承認期限 平成20年7月3日まで

平成22年国勢調査 調査票乙

平成20年6月13日
総務省統計局

記入は
黒の鉛筆で
数字の
記入例
1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。

たて線1本 すきまをあける とじる
はわな 上につきぬける 角をつける

氏名及び男女の別 ・ふだん住んでいる人を もれなく書いてください	電話 番号	(わからないことがあった場合 問い 合わせに利用させていただきます)			
	1 (氏名)	2 (氏名)	3 (氏性)	4 (氏名)	
2 世帯主との続き柄 ・世帯主の配偶者(妻又は夫)の 祖父・兄弟姉妹は それぞれ 祖父・兄弟姉妹に含めます ・孫の配偶者は孫に 兄弟姉妹の 配偶者は兄弟姉妹に含めます	世帯主 又は 代表者	世帯主 の 配偶者	子 の 配偶者	世帯主 の 父母	世帯主 の 父母
3 出生の年月	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦	明治 大正 昭和 平成 西暦
4 配偶者の有無 ・届出の有無に関係なく記入 してください	未婚(まらむ) 配偶者あり(あ) 死別(しべつ) 離別(りべつ)	未婚(まらむ) 配偶者あり(あ) 死別(しべつ) 離別(りべつ)	未婚(まらむ) 配偶者あり(あ) 死別(しべつ) 離別(りべつ)	未婚(まらむ) 配偶者あり(あ) 死別(しべつ) 離別(りべつ)	未婚(まらむ) 配偶者あり(あ) 死別(しべつ) 離別(りべつ)
5 国籍	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)	日本 外国 (国名)
6 現在の場所に住んで いる期間 ・生まれてから引き続き現在の 場所に住んでいる場合は 出生時 からのみに記入してください	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上	出生時から 1年未満 1~5年未満 5~10年未満 10~20年未満 20年以上
7 5年前(平成15年6月13日) には どこに住んで いましたか ・平成15年6月13日以後に 生まれた人については 生まれた場所(その時点で 母親が住んでいた場所) を書いてください ・現在の場所 に出生時から又は 5年以上住んで いる人については 記入する必要 はありません 政令指定都市の場合は 区名まで書いてください	現在と 同じ場所	同じ区・市町村 内の他の場所	他の区・ 市町村	外国	現在と 同じ場所

「調査票の記入のしかた」を参照して 太わくの中だけに記入してください

世帯について ((1)~(4)欄は 調査票が2枚以上にわたる場合は1枚目に記入してください)

(1) 世帯員の数 総数 男 女 人 人 人	(3) 住宅の建て方 一戸建 長屋建(テラスハウスをきむ) 共同住宅 その他
(2) 住居の種類 持ち家 都道府県 市区町村 市の賃貸住宅 都道府県 市区町村 市の賃貸住宅 民間の賃貸住宅 給与住宅(住宅・公務員住宅など) 住宅に間借り 会社等の独居寮・寄宿舎 その他	(4) 住宅の床面積の合計(延べ面積) ・住宅の床面積の合計(居住室の床面積のほか 玄関・台所・トイレ・浴室・廊下・押し入れなどを含む)を記入してください ・営業用の部分及び他の世帯が使っている部分は除いてください

世帯では 下の欄には記入しないでください

世帯の種類	一般の世帯(世帯主の世帯) 学校の学生(学生・生徒) 病院・療養所の入居者 老人ホーム等の社会施設の入居者 その他
インターネット用	調査票ID: 確認コード:
市区町村コード	調査区番号
世帯番号	この世帯の調査票のうちの枚目

裏面(第2面)にも記入してください

	1	2	3	4
8 教育	<p>在学中 卒業 未就学</p> <p>小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 保育園 短大 大学 乳児 その他 高専 大学院</p>	<p>在学中 卒業 未就学</p> <p>小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 保育園 短大 大学 乳児 その他 高専 大学院</p>	<p>在学中 卒業 未就学</p> <p>小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 保育園 短大 大学 乳児 その他 高専 大学院</p>	<p>在学中 卒業 未就学</p> <p>小学 高校 幼稚園 保育園 中学 旧中 保育園 短大 大学 乳児 その他 高専 大学院</p>
	<p>・在学中の人はその学校卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください</p>	<p>・在学中の人はその学校卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください</p>	<p>・在学中の人はその学校卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください</p>	<p>・在学中の人はその学校卒業の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の卒業学校)について記入してください</p>
9 6月6日から12日までの1週間に仕事をしましたか	<p>主として仕事</p> <p>家事などのほかに仕事</p> <p>通学のため</p> <p>10~14欄にも記入</p>	<p>主として仕事</p> <p>家事などのほかに仕事</p> <p>通学のため</p> <p>10~14欄にも記入</p>	<p>主として仕事</p> <p>家事などのほかに仕事</p> <p>通学のため</p> <p>10~14欄にも記入</p>	<p>主として仕事</p> <p>家事などのほかに仕事</p> <p>通学のため</p> <p>10~14欄にも記入</p>
	<p>少しも仕事(収入を伴うもの)をした人</p> <p>仕事をしていない人</p> <p>10~14欄にも記入</p>	<p>少しも仕事(収入を伴うもの)をした人</p> <p>仕事をしていない人</p> <p>10~14欄にも記入</p>	<p>少しも仕事(収入を伴うもの)をした人</p> <p>仕事をしていない人</p> <p>10~14欄にも記入</p>	<p>少しも仕事(収入を伴うもの)をした人</p> <p>仕事をしていない人</p> <p>10~14欄にも記入</p>
10 従業地又は通学地	<p>自宅(住み込みを含む)</p> <p>同じ区・市町村</p> <p>他の区・市町村</p> <p>12欄へ(所在地を左づめて記入)</p>	<p>自宅(住み込みを含む)</p> <p>同じ区・市町村</p> <p>他の区・市町村</p> <p>12欄へ(所在地を左づめて記入)</p>	<p>自宅(住み込みを含む)</p> <p>同じ区・市町村</p> <p>他の区・市町村</p> <p>12欄へ(所在地を左づめて記入)</p>	<p>自宅(住み込みを含む)</p> <p>同じ区・市町村</p> <p>他の区・市町村</p> <p>12欄へ(所在地を左づめて記入)</p>
	<p>・仕事も通学もしている人は仕事をしている場所について記入してください</p> <p>都道府県 市区町村 政令指定都市の場合は区名まで書いてください</p>	<p>・仕事も通学もしている人は仕事をしている場所について記入してください</p> <p>都道府県 市区町村 政令指定都市の場合は区名まで書いてください</p>	<p>・仕事も通学もしている人は仕事をしている場所について記入してください</p> <p>都道府県 市区町村 政令指定都市の場合は区名まで書いてください</p>	<p>・仕事も通学もしている人は仕事をしている場所について記入してください</p> <p>都道府県 市区町村 政令指定都市の場合は区名まで書いてください</p>
11 従業地又は通学地までの利用交通手段	<p>徒歩のみ</p> <p>鉄道 乗合バス</p> <p>乗合バス</p> <p>自家用車</p> <p>ハイヤー タクシー</p> <p>オートバイ</p> <p>自転車</p> <p>その他</p>	<p>徒歩のみ</p> <p>鉄道 乗合バス</p> <p>乗合バス</p> <p>自家用車</p> <p>ハイヤー タクシー</p> <p>オートバイ</p> <p>自転車</p> <p>その他</p>	<p>徒歩のみ</p> <p>鉄道 乗合バス</p> <p>乗合バス</p> <p>自家用車</p> <p>ハイヤー タクシー</p> <p>オートバイ</p> <p>自転車</p> <p>その他</p>	<p>徒歩のみ</p> <p>鉄道 乗合バス</p> <p>乗合バス</p> <p>自家用車</p> <p>ハイヤー タクシー</p> <p>オートバイ</p> <p>自転車</p> <p>その他</p>
	<p>二つ以上の交通手段を利用している場合は該当するものすべてに記入してください</p>	<p>二つ以上の交通手段を利用している場合は該当するものすべてに記入してください</p>	<p>二つ以上の交通手段を利用している場合は該当するものすべてに記入してください</p>	<p>二つ以上の交通手段を利用している場合は該当するものすべてに記入してください</p>
12 勤めか 自営かの別	<p>雇われている人</p> <p>雇われている人以外</p> <p>正規の労働者派遣社員</p> <p>労働者派遣法の規定に基づいて働いている人</p> <p>パート・アルバイト・その他</p> <p>自営業主とは個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自営業の人をいいます</p>	<p>雇われている人</p> <p>雇われている人以外</p> <p>正規の労働者派遣社員</p> <p>労働者派遣法の規定に基づいて働いている人</p> <p>パート・アルバイト・その他</p> <p>自営業主とは個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自営業の人をいいます</p>	<p>雇われている人</p> <p>雇われている人以外</p> <p>正規の労働者派遣社員</p> <p>労働者派遣法の規定に基づいて働いている人</p> <p>パート・アルバイト・その他</p> <p>自営業主とは個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自営業の人をいいます</p>	<p>雇われている人</p> <p>雇われている人以外</p> <p>正規の労働者派遣社員</p> <p>労働者派遣法の規定に基づいて働いている人</p> <p>パート・アルバイト・その他</p> <p>自営業主とは個人で事業を営んでいる人(農家などを含む)や自営業の人をいいます</p>
	<p>「調査票の記入のしかた」の12~15ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください</p>	<p>「調査票の記入のしかた」の12~15ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください</p>	<p>「調査票の記入のしかた」の12~15ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください</p>	<p>「調査票の記入のしかた」の12~15ページの書き方の例を参考にしてくわしく書いてください</p>
13 勤め先・業主などの名称及び事業の内容	<p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p>	<p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p>	<p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p>	<p>勤め先・業主などの名称</p> <p>事業の内容</p>
	<p>・仕事をしている事業所(本社・本店 支社・支店 営業所 工場 商店など)の名称(官公庁の場合は課名まで)を書いてください</p> <p>・労働者派遣事業所の派遣社員は派遣先の状況について書いてください</p>	<p>・仕事をしている事業所(本社・本店 支社・支店 営業所 工場 商店など)の名称(官公庁の場合は課名まで)を書いてください</p> <p>・労働者派遣事業所の派遣社員は派遣先の状況について書いてください</p>	<p>・仕事をしている事業所(本社・本店 支社・支店 営業所 工場 商店など)の名称(官公庁の場合は課名まで)を書いてください</p> <p>・労働者派遣事業所の派遣社員は派遣先の状況について書いてください</p>	<p>・仕事をしている事業所(本社・本店 支社・支店 営業所 工場 商店など)の名称(官公庁の場合は課名まで)を書いてください</p> <p>・労働者派遣事業所の派遣社員は派遣先の状況について書いてください</p>
14 本人の仕事の内容	<p>・本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください</p>	<p>・本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください</p>	<p>・本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください</p>	<p>・本人が実際にしている主な仕事の内容をくわしく書いてください</p>

この調査票は機械にかけますので汚さないでください

ご協力ありがとうございました